

学校卒業後の地元就職希望に関する意識調査
報告書

令和6年10月

上山市

目次

1. 調査要領	3
(1) 調査の概要	3
(2) 調査の項目	4
2. 調査結果	7
(1) 単純集計結果	7
問1 あなたの戸籍上の性別は。	7
問2 専攻は。	7
問2 3. その他（自由記述）	8
問3 兄弟・姉妹の人数はあなたを入れて何人ですか。	9
問4 あなたは次のどれに該当しますか。	9
問5 お住まいはずっと上山市ですか。上山市以外の方は市町村名をご記入ください。上山市以外の方は市町村名 をご記入ください。	10
問5 2. 上山市ではないがずっと山形県内、3. 県外（自由記述）	10
問6 ご両親（あるいはどちらかは）は上山市のご出身ですか。	12
問7 父親の方のお仕事は何ですか（ いらっしゃらない場合は母親の方のお仕事）。	12
問7 8. その他（自由記述）	13
問8 学校卒業後、予定されている進路は。	14
問9 学校卒業後の進路は、どこの地域を希望（予定）されていますか。	14
問9 5. その他（自由記述）	15
問10 あなたが将来就きたい仕事について、具体的な業種があれば教えてください（複数可）。	16
問11 あなたが将来就きたい仕事について、具体的な職業があれば教えてください（複数可）。	17
問12 あなたが希望される仕事は、上山市あるいはその近隣地域にあると思いますか。	18
問13 将来、上山市及びその近隣地域に住みたいと思いますか。	19
付問13-1 住みたいと考える方におたずねします。住みたい理由は何ですか（複数可）。	19
付問13-1 13. その他（自由記述）	20
付問13-2 住みたくない方におたずねします。住みたくない理由は何ですか（複数可）。	21
問13-2 10. その他（自由記述）	21
問14 ご両親は、将来あなたにどこに住んで貰うことを希望されていると思いますか。	22
問15 地方が活性化するには、これまでのように多くの若者が地方を離れるのではなく、将来を担う若者の多く が地方に定着することが必要条件ですが、あなたはごどう思いますか。	22
問15 5. その他（自由記述）	23
問16 あなたを含めて若者が定着するには、上山では特に何が必要だと思いますか（3つまで）。	24
問16 14. その他（自由記述）	25

問 17 あなたを含めて若者が将来上山に定着するために、行政や事業者、あるいは地域の取組としてどのようなことが必要と考えますか。ご自由にお書きください。	25
 (2) クロス集計結果	31
① 性別による違い	31
問 1 戸籍上の性別 と 問 12 希望する仕事の市内での有無 のクロス表	32
問 1 戸籍上の性別 と 問 13 定住意向 のクロス表	32
問 1 戸籍上の性別 と 問 15 若者の定着への考え のクロス表	33
② 専攻による違い	35
問 2 専攻 と 問 12 希望する仕事の市内での有無 のクロス表	36
問 2 専攻 と 問 13 定住意向 のクロス表	37
問 2 専攻 と 問 15 若者の定着への考え のクロス表	38
③ 第一子かそれ以外かによる違い	39
問 4 第一子かそれ以外か と 問 12 希望する仕事の市内での有無 のクロス表	40
問 4 第一子かそれ以外か と 問 13 定住意向 のクロス表	41
問 4 第一子かそれ以外か と 問 15 若者の定着への考え のクロス表	42
④ 住まいによる違い	43
問 5 住まい と 問 12 希望する仕事の市内での有無 のクロス表	45
問 5 住まい と 問 13 定住意向 のクロス表	45
問 5 住まい と 問 15 若者の定着への考え のクロス表	46
⑤ 親の出身地による違い	48
問 6 親の出身地 と 問 12 希望する仕事の市内での有無 のクロス表	49
問 6 親の出身地 と 問 13 定住意向 のクロス表	50
問 6 親の出身地 と 問 15 若者の定着への考え のクロス表	51
⑥ 予定進路による違い	52
問 8 予定進路 と 問 12 希望する仕事の市内での有無 のクロス表	53
問 8 予定進路 と 問 13 定住意向 のクロス表	54
問 8 予定進路 と 問 15 若者の定着への考え のクロス表	55
⑦ 進路の地域希望による違い	56
問 9 進路の地域希望 と 問 12 希望する仕事の市内での有無 のクロス表	58
問 9 進路の地域希望 と 問 13 定住意向 のクロス表	59
問 9 進路の地域希望 と 問 15 若者の定着への考え のクロス表	60

1. 調査要領

(1) 調査の概要

本調査は、上山明新館高校3年生及び上山市在住の大学生、専門学校生等を対象にアンケート調査として実施した。

調査の結果、232件の回答が得られた。

調査の実施要領、調査票の設問構成、属性別回答者数は以下の表に示す通りである。

■調査種別と調査要領

調査種別	学校卒業後の地元就職希望に関する意識調査
調査目的	市内の各高校・大学について、卒業後の本市への定住意向や、就職に関する希望等を調査することで、若年層の流出抑制策の検討に繋げる。
調査対象	・上山明新館高校3年生（204人） ・市内在住の20・21歳の大学生等（396人） 合計600人
調査時期	令和6年7月24日（水）～8月16日（金）
調査方法	調査票に回答者自身が記入。 高校生は学校で配布・回収。大学生等は郵送。
回答方法	・調査票への記入による回答 ・ウェブ上のオンライン回答フォームへの入力による回答
有効サンプル数と回収率	有効サンプル総数：232件（38.7%） [内訳] ・調査票による回答：207件（34.5%） ・オンラインフォームによる回答：25件（4.2%）
調査協力機関	公益財団法人日本生産性本部

(2) 調査の項目

本調査は、下記に示す調査票を用いて行った。

卒業後の就業に関する意識調査（上山市）

わが国は極度の高齢化と人口減少時代に突入し、このまま進行すれば、とりわけ地方都市においては住民生活が成り立たなくなる恐れすらあると言われています。こうした事態に陥らないよう、政府・自治体はもとより住民や将来を担う若者の方々も一体となって、誰もが安心して就業し、結婚し、子供を産み育ていける生活環境を創り出していかねばなりません。

本アンケートは、こうした主旨のもと実施させて頂くもので、それ以外の用途に使用することは決してなく、また、個人を特定できるような集計を行うことも絶対にいたしません。ご面倒をおかけいたしますが、なにとぞご協力頂きますようお願い申し上げます。

■以下の各設問について、あてはまる選択肢の番号に○をしてください。

1. あなたご自身のことについておたずねします。

問1 あなたの戸籍上の性別は。

1. 男性 2. 女性

問2 専攻は。

1. 文系 2. 理系 3. その他

問3 兄弟・姉妹の人数はあなたを入れて何人ですか。

1. 一人 2. 二人 3. 三人 4. 四人以上

問4 あなたは次のどれに該当しますか。

1. 第一子（長男・長女） 2. それ以外

問5 お住まいはずっと上山市ですか。上山市以外の方は市町村名をご記入ください。

1. ずっと上山市 2. 上山市ではないがずっと山形県内（ ）
3. 県外（ ）

問6 ご両親（あるいはどちらかは）は上山市のご出身ですか。

1. 上山市の出身 2. 上山市ではないが山形県内出身 3. 両親とも県外出身

問7 父親の方のお仕事は何ですか（いらっしゃる場合は母親の方のお仕事）。

1. 会社員 2. 公務員・団体職員
3. 会社や団体の経営者・役員 4. 商工飲食サービス業の自営業
5. 農・林・畜産・鉱業の自営業 6. 独立した職人・運転手など技能専門職
7. 開業医・弁護士・作家など自由業 8. その他（ ）

問8 学校卒業後、予定されている進路は。

1. 大学等へ進学する 2. 就職する 3. 家業をする 4. その他

問9 学校卒業後の進路は、どこの地域を希望（予定）されていますか。

1. 上山市及び近隣地域 2. 他の山形県内 3. 東北地域
4. 関東地域 5. その他（ ）

* 近隣地域＝ 上山から1時間以内で行ける地域（以下、全て同様）

問 10 あなたが将来就きたい仕事について、具体的な業種があれば教えてください（複数可）。

1. 農業、林業
2. 漁業
3. 鉱業、採石業、砂利採取業
4. 建設業
5. 製造業
6. 電気・ガス・熱供給・水道業
7. 情報通信業（例：通信業、放送業、ソフトウェア業、インターネット附随サービス業等）
8. 運輸業、郵便業
9. 卸売業、小売業
10. 金融業、保険業
11. 不動産業、物品賃貸業
12. 学術研究、専門・技術サービス業（例：法律事務所、公認会計士事務所、デザイン業、広告業等）
13. 宿泊業、飲食サービス業
14. 生活関連サービス業、娯楽業（例：理容業、美容業、旅行業、冠婚葬祭業等）
15. 教育、学習支援業
16. 医療、福祉
17. 複合サービス事業（例：郵便局、協同組合等）
18. サービス業（例：自動車整備業、機械等修理業、警備業、政治・経済・文化団体、宗教等）
19. 公務
20. わからない

問 11 あなたが将来就きたい仕事について、具体的な職業があれば教えてください（複数可）。

1. 管理的職業（例：法人・団体役員等）
2. 研究・技術の職業
3. 法務・経営・文化芸術等の専門的職業
4. 医療・看護・保健の職業
5. 保育・教育の職業
6. 事務的職業
7. 販売・営業の職業
8. 福祉・介護の職業
9. サービスの職業（例：家庭生活支援サービス、理容師、美容師、美容関連サービス、接客・給仕の職業等）
10. 警備・保安の職業
11. 農林漁業の職業
12. 製造・修理・塗装・製図等の職業
13. 配送・輸送・機械運転の職業
14. 建設・土木・電気工事の職業
15. 運搬・清掃・包装・選別等の職業
16. わからない

問 12 あなたが希望される仕事は、上山市あるいはその近隣地域にあると思いますか。

- | | | |
|-------|-------|--------------|
| 1. ある | 2. ない | 3. どちらともいえない |
|-------|-------|--------------|

問 13 将来、上山市及びその近隣地域に住みたいと思いますか。

1. 住むつもり

2. 希望する仕事さえあれば住みたい

3. 仕事があっても住みたくない

付問 13-1 へ

付問 13-2 へ

付問 13-1 住みたいと考える方におたずねします。住みたい理由は何ですか（複数可）。

- | | |
|---------------------------------|------------------------|
| 1. 生まれ育ったところだから | 2. 親と一緒に住んでいるから |
| 3. 自然や景色、気候が好きだから | 4. 働く場所、家業があるから |
| 5. この土地への愛着があるから | 6. 日常生活に便利であるから |
| 7. 子供の教育環境がよいから | 8. 近隣関係がよいから |
| 9. 兄弟や親戚が近くにいるから | 10. 公共施設が整っているから |
| 11. 人間関係がよいから | 12. 特に他のまちに移り住む必要もないから |
| 13. その他（ ） | |

付問 13-2 住みたくない方におたずねします。住みたくない理由は何ですか（複数可）。

- | | |
|--------------------|---------------------------------|
| 1. 一生働く場としては満足できない | 2. 生活の場として楽しくない |
| 3. 地域のつながりが煩わしい | 4. 教育環境が貧弱で子供が可哀想 |
| 7. 冬の生活がいや | 8. 東京や仙台など大都市で生活したい |
| 9. 外国で生活したい | 10. その他（ ） |

問 14. ご両親は、将来あなたにどこに住んで貰うことを希望されていると思いますか。

1. 上山市かその近隣地域

2. 近隣ではなくても県内地域

3. 東北地域

4. その他の地域

5. 特にどこという希望はないと思う

問 15 地方が活性化するには、これまでのように多くの若者が地方を離れるのではなく、将来を担う若者の多くが地方に定着することが必要条件ですが、あなたはどのように思いますか。

1. その通りだと思うので、自分もこの地に住み着くつもりでいる
2. その通りだと思うので、できるだけ希望に近い仕事をここで見つけたい
3. その通りだとは思うが、希望する仕事や生活があることが優先で、なければしかたがない
4. 若者の仕事や生活に対する希望が何より優先されるべきで、地方の活性化とは別問題だ
5. その他（ ）

問 16 あなたを含めて若者が定着するには、上山では特に何が必要だと思いますか（3つまで）。

- | | |
|-----------------------|---------------------------------|
| 1. 多様な仕事の場を確保すること | 2. 地場産業を育成すること |
| 3. 企業誘致をして雇用の拡大を図ること | 4. 地元就職者に対する支援を強化すること |
| 5. 転入移住者に対する支援を強化すること | 6. 観光の育成をして来訪客を増やすこと |
| 7. 都会並みの所得水準にすること | 8. 生活上の楽しみの多い街にすること |
| 9. 子供の教育環境を高めること | 10. 医療、福祉環境を高めること |
| 11. 生活上の安全環境を高めること | 12. 大都市との交通の便をよくすること |
| 13. 市内交通の便をよくすること | 14. その他（ ） |

問 17 あなたを含めて若者が将来上山に定着するために、行政や事業者、あるいは地域の取組としてどのようなことが必要と考えますか。ご自由にお書きください。

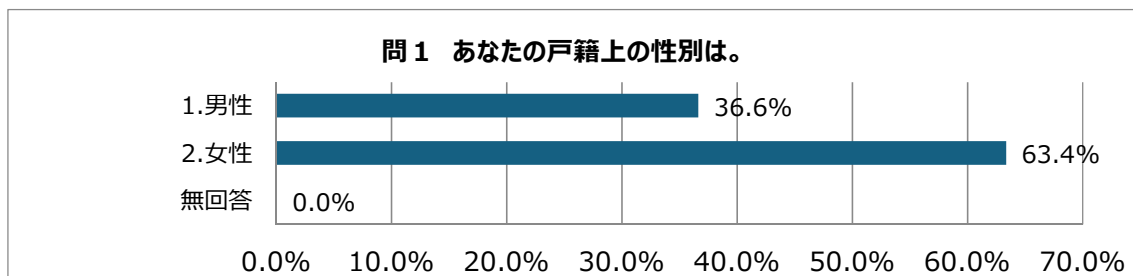
* アンケートはこれで終わりです。ご協力頂きまことに有り難うございました。

2. 調査結果

(1) 単純集計結果

問1 あなたの戸籍上の性別は。

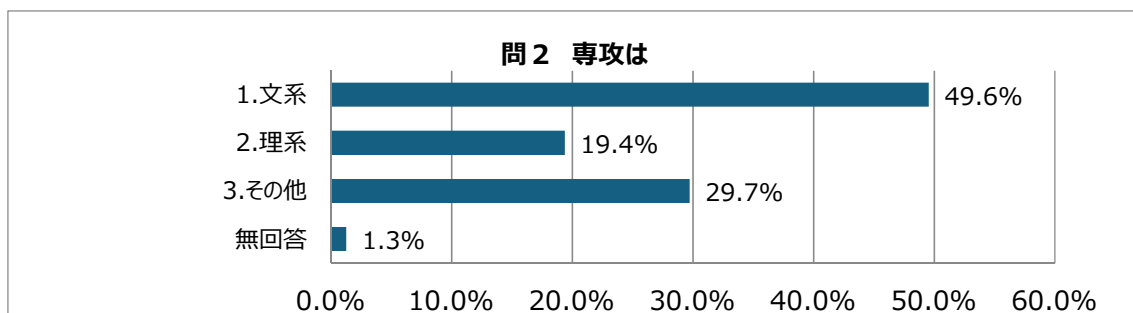
回答者の約6割が女性、約3割が男性である。



項 目	回答数	%
1. 男性	85	36.6%
2. 女性	147	63.4%
無回答	0	0.0%
小 計	232	100.0%

問2 専攻は。

回答者の約5割が文系、約2割が理系の専攻である。また、それ以外が約3割である。



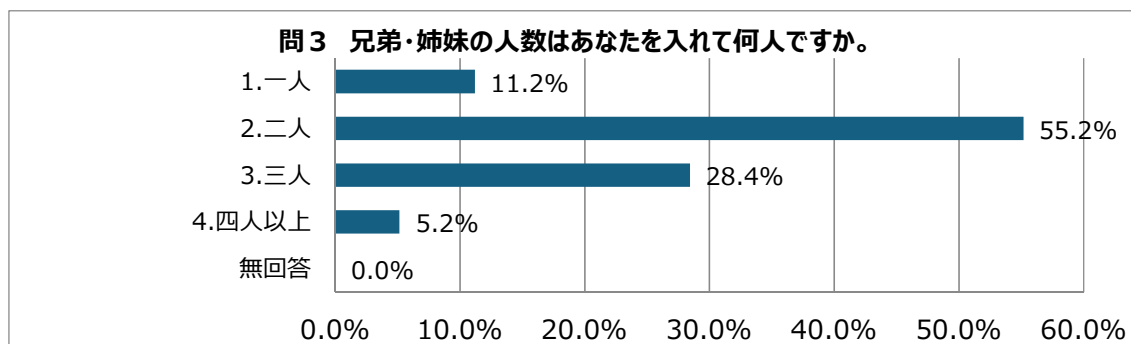
項 目	回答数	%
1. 文系	115	49.6%
2. 理系	45	19.4%
3. その他	69	29.7%
無回答	3	1.3%
小 計	232	100.0%

問2 3. その他（自由記述）

- 普通（同回答 89 件）
- 食料生産（同回答 29 件）
- 情報経営（同回答 26 件）
- 情経（同回答 3 件）
- 理工（同回答 2 件）
- 農業（同回答 2 件）
- 商業（同回答 2 件）
- 教育学
- 作業療法学
- 教育
- 幼児教育
- 建築・環境デザイン学
- 化学
- カンゴ
- IT
- リハビリテーション
- 言語文化学
- 森林科学
- 自動車
- 経営
- 法律学
- 機械
- 法学
- 国際社会
- 経済
- 普科

問3 兄弟・姉妹の人数はあなたを入れて何人ですか。

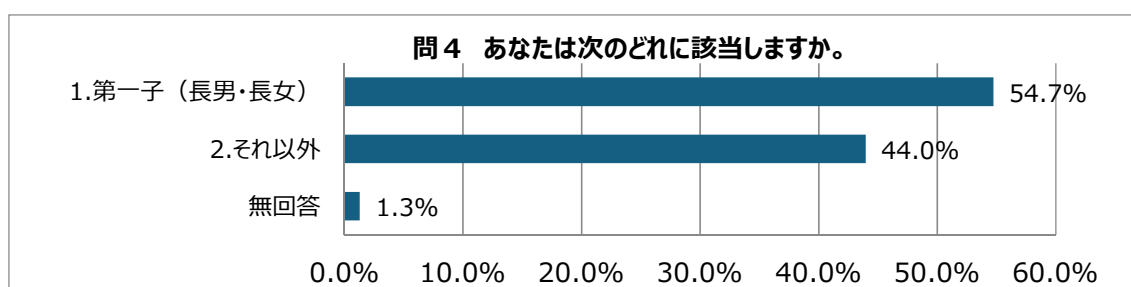
回答者のうち、回答者自身を含め二人以上の兄弟との回答が8割を超えた（88.8%）。



項 目	回答数	%
1. 一人	26	11.2%
2. 二人	128	55.2%
3. 三人	66	28.4%
4. 四人以上	12	5.2%
無回答	0	0.0%
小 計	232	100.0%

問4 あなたは次のどれに該当しますか。

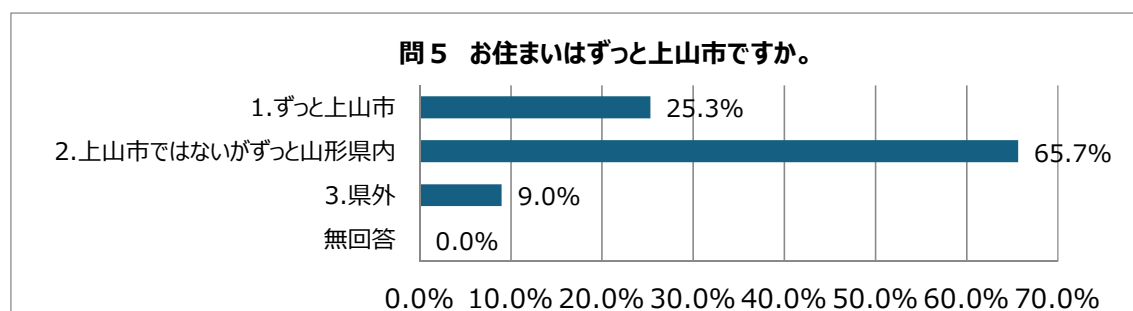
回答者の約5割が第一子である。



項 目	回答数	%
1. 第一子（長男・長女）	127	54.7%
2. それ以外	102	44.0%
無回答	3	1.3%
小 計	232	100.0%

問5 お住まいはずっと上山市ですか。上山市以外の方は市町村名をご記入ください。上山市以外の方は市町村名をご記入ください。

回答者の 65.7%が上山市ではないがずっと山形県内に住んでいる。また、25.3%がずっと上山市に住んでいる。9.0%は県外に住んでいる。



項 目	回答数	%
1. ずっと上山市	59	25.3%
2. 上山市ではないがずっと山形県内	153	65.7%
3. 県外	21	9.0%
無回答	0	0.0%
小 計	233	100.0%

問5 2. 上山市ではないがずっと山形県内、3. 県外（自由記述）

山形県外（9.0%）の回答のうち、自由記述があったものについては、東北地方、関東地方の回答が多い結果となった。

【山形県内】

- 山形市（同回答 91 件）
- 山形市／酒田市
- 山形市／北海道
- 山辺町（同回答 10 件）
- 南陽市（同回答 6 件）
- 中山町（同回答 5 件）
- 中山
- 高畠町（同回答 4 件）
- 米沢市（同回答 2 件）
- 米沢

【山形県以外の東北地方】

- 八戸市（青森県）
- 宮城
- 仙台市（宮城県）
- 仙台市（宮城県）
- 仙台市（1 年半）（宮城県）
- 福島市（福島県）
- 福島から転校（福島県）
- 川西町（福島県）

【関東地方】

- 宇都宮市（栃木県）
- 松戸市（千葉県）
- 東京都（同回答 2 件）
- 新宿（東京都）
- 横浜市（神奈川県）

【中部地方】

- 新潟市（新潟県）
- 金沢市（石川県）

【近畿地方】

- 京都府京都市

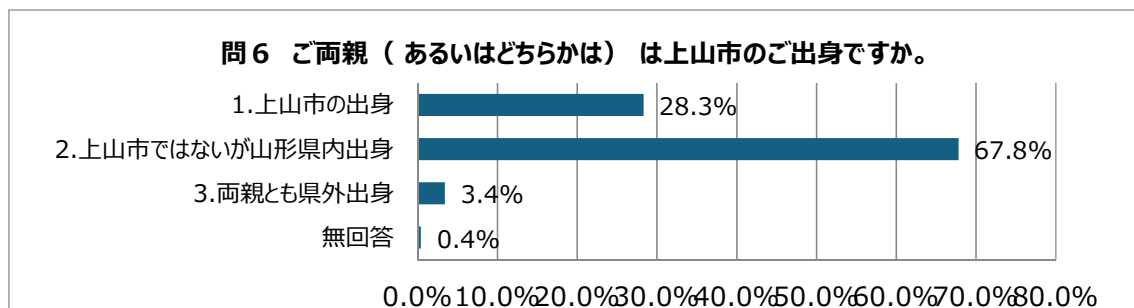
【その他】

- 千葉県船橋市、東京都北区
- 山形市／北海道

問6 ご両親（あるいはどちらかは）は上山市のご出身ですか。

回答者の内、父母、あるいはどちらかの親が上山市出身の回答は28.3%だった。

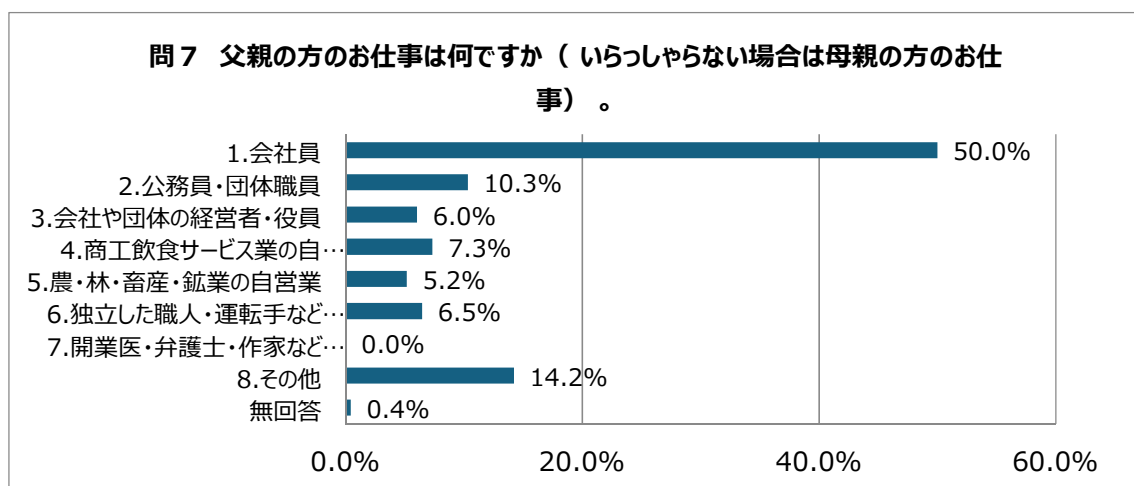
また、両親とも県外出身との回答は3.4%だった。



項 目	回答数	%
1. 上山市の出身	66	28.3%
2. 上山市ではないが山形県内出身	158	67.8%
3. 両親とも県外出身	8	3.4%
無回答	1	0.4%
小 計	233	100.0%

問7 父親の方のお仕事は何ですか（いらっしゃる場合は母親の方のお仕事）。

主たる生計者の仕事は、会社員の回答が最も多く、50.0%だった。その他を除くと、公務員・団体職員が次に多く、10.3%だった。



項 目	回答数	%
1. 会社員	116	50.0%
2. 公務員・団体職員	24	10.3%

3. 会社や団体の経営者・役員	14	6.0%
4. 商工飲食サービス業の自営業	17	7.3%
5. 農・林・畜産・鉱業の自営業	12	5.2%
6. 独立した職人・運転手など技能専門職	15	6.5%
7. 開業医・弁護士・作家など自由業	0	0.0%
8. その他	33	14.2%
無回答	1	0.4%
小 計	232	100.0%

問 7 8. その他（自由記述）

【自営業】

- 自営業（同回答 4 件）
- 内装、自営業

【飲食業】

- 飲食店の社員
- 調理師

【医療・福祉】

- 看護師（同回答 2 件）
- 介護士（同回答 2 件）
- 介護（同回答 4 件）
- ケアマネージャー
- 歯科衛生士

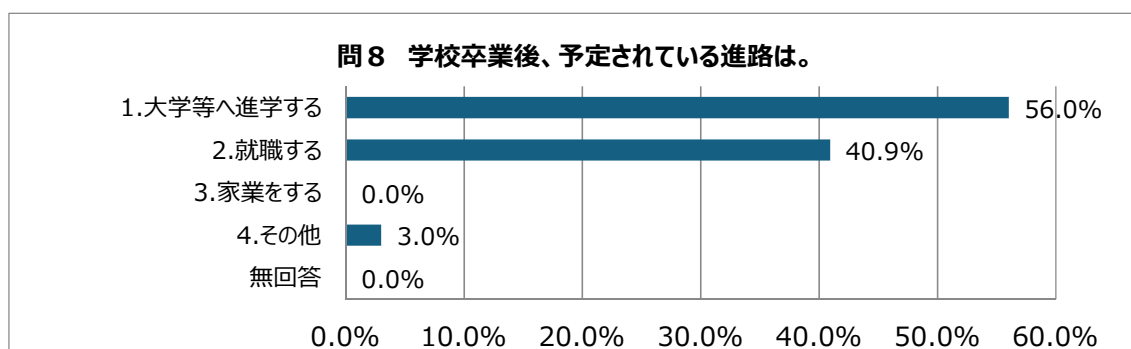
【その他】

- 工場のパート
- 宅配業者
- 小売業
- 材木屋
- 車
- 主夫
- 保育士
- 無職

- 不明
- わからない
- 分からない

問8 学校卒業後、予定されている進路は。

学校卒業後の予定進路では、「大学等へ進学する」が最も多く（56.0%）、「就職する」が40.9%で続く。



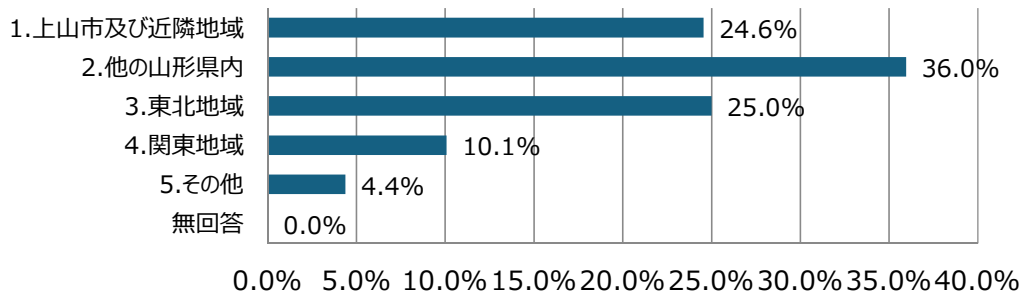
項 目	回答数	%
1. 大学等へ進学する	130	56.0%
2. 就職する	95	40.9%
3. 家業をする	0	0.0%
4. その他	7	3.0%
無回答	0	0.0%
小 計	232	100.0%

問9 学校卒業後の進路は、どこを希望（予定）されていますか。

* 近隣地域＝ 上山から1 時間以内で行ける地域（以下、全て同様）

学校卒業後の進路で希望する地域では、「他の山形県内」が最も多く、36.0%だった。「東北地方」が25.0%、「上山市及び近隣地域」は24.6%と、県内や東北地方への希望が高い。

問9 学校卒業後の進路は、どの地域を希望（予定）されていますか。



項 目	回答数	%
1. 上山市及び近隣地域	56	24.6%
2. 他の山形県内	82	36.0%
3. 東北地域	57	25.0%
4. 関東地域	23	10.1%
5. その他	10	4.4%
無回答	0	0.0%
小 計	228	100.0%

問9 5. その他（自由記述）

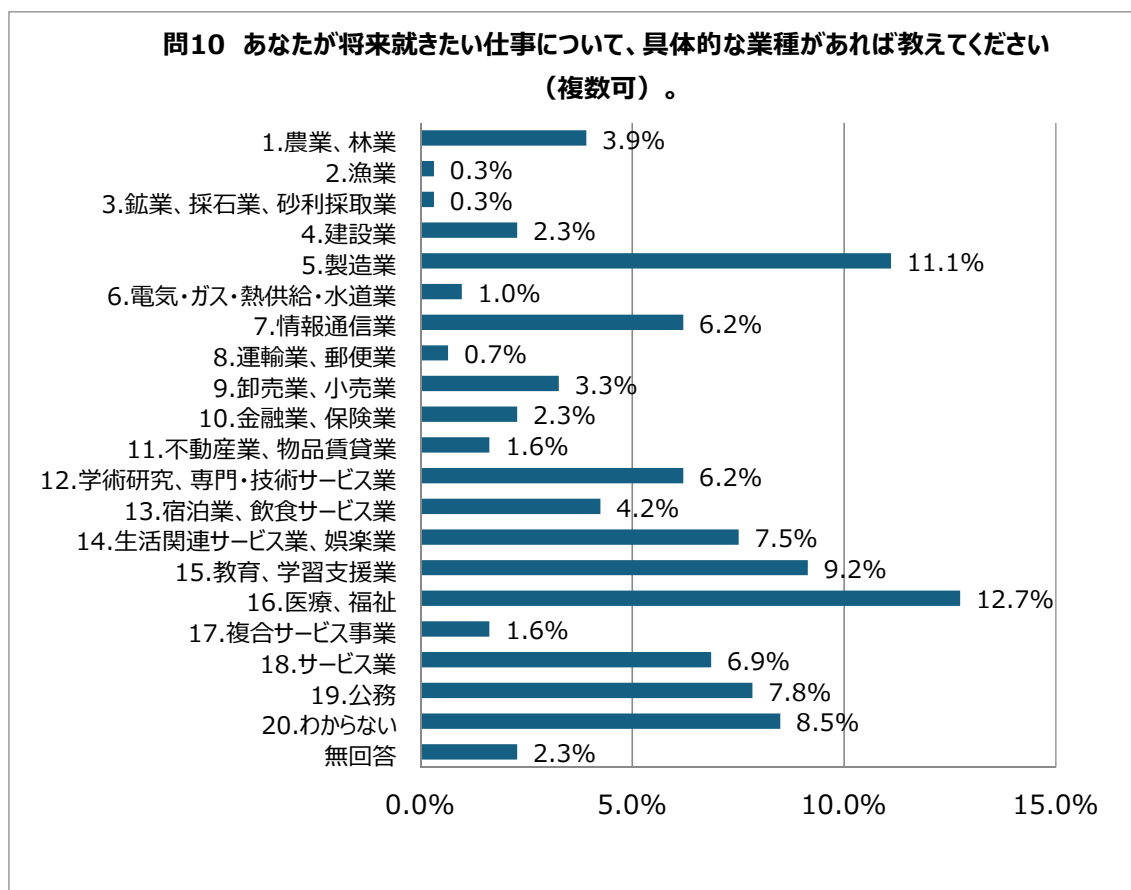
※判読不能だった文字を「●」で示している。

- 京都市
- 未定
- 1、4 のどちらか
- 未定
- 中部
- 新潟県
- 中部地域
- ●遺場
- 国全体(注)海
- まだ決まっていない

問 10 あなたが将来就きたい仕事について、具体的な業種があれば教えてください（複数可）。

将来就きたい仕事では、医療・福祉が最も回答が多く（12.7%）、製造業（11.1%）、教育、学習支援業（9.2%）と続く。

また、全体の約1割がわからない、あるいは無回答である（わからない8.5%、無回答2.3%）。

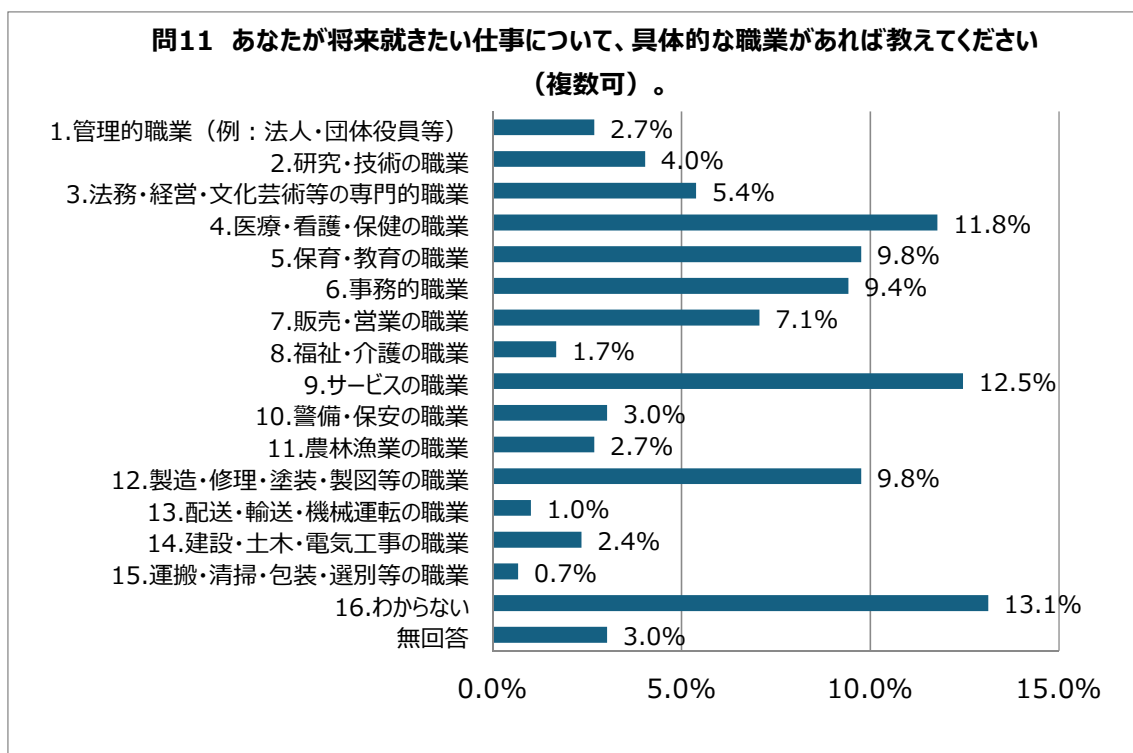


項 目	回答数	%
1. 農業、林業	12	3.9%
2. 漁業	1	0.3%
3. 鉱業、採石業、砂利採取業	1	0.3%
4. 建設業	7	2.3%
5. 製造業	34	11.1%
6. 電気・ガス・熱供給・水道業	3	1.0%
7. 情報通信業	19	6.2%
8. 運輸業、郵便業	2	0.7%
9. 卸売業、小売業	10	3.3%
10. 金融業、保険業	7	2.3%

11. 不動産業、物品賃貸業	5	1.6%
12. 学術研究、専門・技術サービス業	19	6.2%
13. 宿泊業、飲食サービス業	13	4.2%
14. 生活関連サービス業、娯楽業	23	7.5%
15. 教育、学習支援業	28	9.2%
16. 医療、福祉	39	12.7%
17. 複合サービス事業	5	1.6%
18. サービス業	21	6.9%
19. 公務	24	7.8%
20. わからない	26	8.5%
無回答	7	2.3%
小 計	306	100.0%

問 11 あなたが将来就きたい仕事について、具体的な職業があれば教えてください（複数可）。

将来就きたい仕事について、わからないが最も多かった（13.1%）。また、サービスの職業（12.5%）、医療・看護・保険の職業（11.8%）が続く。

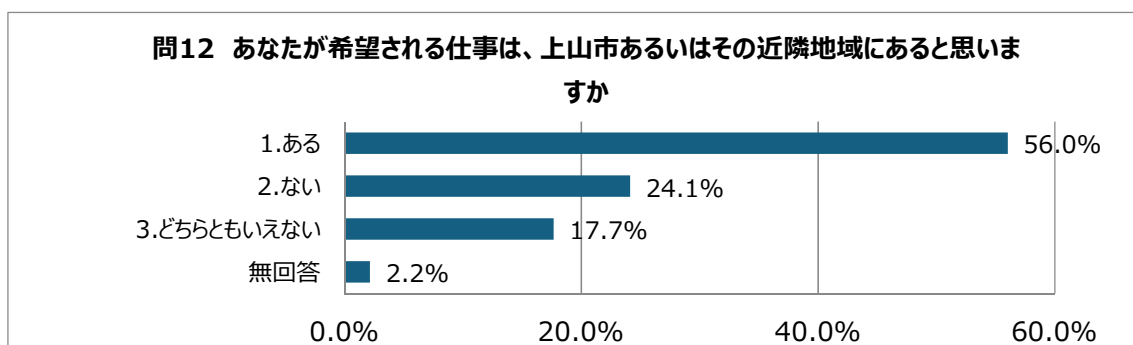


項 目	回答数	%
1. 管理的職業（例：法人・団体役員等）	8	2.7%

2. 研究・技術の職業	12	4.0%
3. 法務・経営・文化芸術等の専門的職業	16	5.4%
4. 医療・看護・保健の職業	35	11.8%
5. 保育・教育の職業	29	9.8%
6. 事務的職業	28	9.4%
7. 販売・営業の職業	21	7.1%
8. 福祉・介護の職業	5	1.7%
9. サービスの職業	37	12.5%
10. 警備・保安の職業	9	3.0%
11. 農林漁業の職業	8	2.7%
12. 製造・修理・塗装・製図等の職業	29	9.8%
13. 配送・輸送・機械運転の職業	3	1.0%
14. 建設・土木・電気工事の職業	7	2.4%
15. 運搬・清掃・包装・選別等の職業	2	0.7%
16. わからない	39	13.1%
無回答	9	3.0%
小 計	297	100.0%

問 12 あなたが希望される仕事は、上山市あるいはその近隣地域にあると思いますか。

回答者の56.0%が、希望する仕事は上山市あるいはその近隣地域にあると思うと回答した。一方、ない、どちらともいえないの合計は約4割（41.8%）となった。



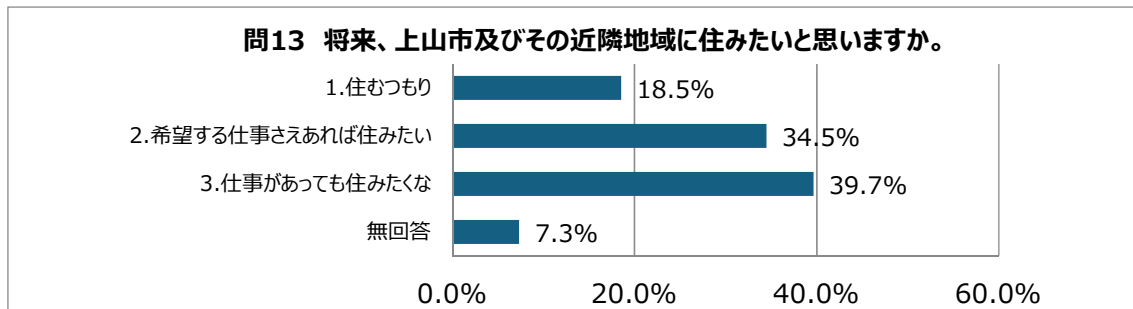
項 目	回答数	%
1. ある	130	56.0%
2. ない	56	24.1%
3. どちらともいえない	41	17.7%
無回答	5	2.2%

小 計	232	100.0%
-----	-----	--------

問 13 将来、上山市及びその近隣地域に住みたいと思いますか。

回答者の 18.5%は、将来上山市及びその近隣地域に住みたいと思っている。

他方、回答者の 39.7%は、仕事があっても住みたくないと思っている。

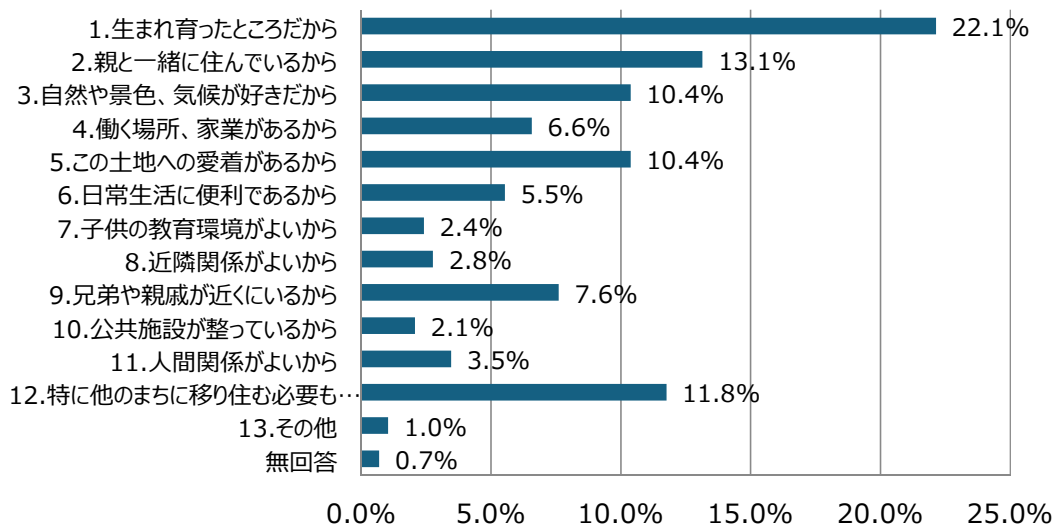


項 目	回答数	%
1. 住むつもり	43	18.5%
2. 希望する仕事さえあれば住みたい	80	34.5%
3. 仕事があっても住みたくない	92	39.7%
無回答	17	7.3%
小 計	232	100.0%

付問 13-1 住みたいと考える方におたずねします。住みたい理由は何ですか（複数可）。

住みたい理由では、生まれ育ったところだからが最も多く（22.1%）、親と一緒に住んでいるから（13.1%）、特に他のまちに移り住む必要もないから（11.8%）が続く。

付問13-1 住みたいと考える方におたずねします。住みたい理由は何ですか（複数可）。



項 目	回答数	%
1. 生まれ育ったところだから	64	22.1%
2. 親と一緒に住んでいるから	38	13.1%
3. 自然や景色、気候が好きだから	30	10.4%
4. 働く場所、家業があるから	19	6.6%
5. この土地への愛着があるから	30	10.4%
6. 日常生活に便利であるから	16	5.5%
7. 子供の教育環境がよいから	7	2.4%
8. 近隣関係がよいから	8	2.8%
9. 兄弟や親戚が近くにいるから	22	7.6%
10. 公共施設が整っているから	6	2.1%
11. 人間関係がよいから	10	3.5%
12. 特に他のまちに移り住む必要もないから	34	11.8%
13. その他	3	1.0%
無回答	2	0.7%
小 計	289	100.0%

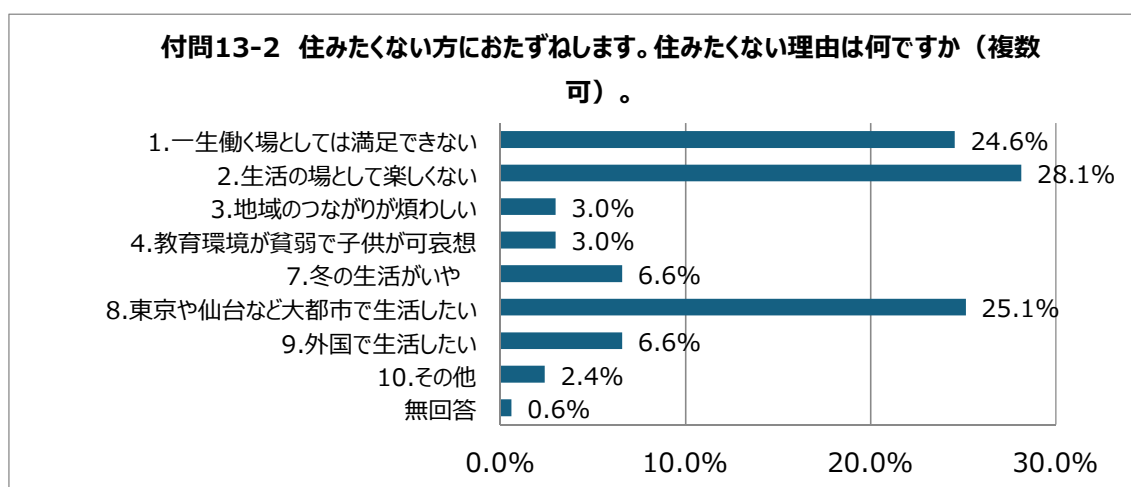
付問 13-1 13. その他（自由記述）

- ②を選んだから
- 仕事があるなら

- 都会に比べると精神衛生上いいから

付問 13-2 住みたくない方におたずねします。住みたくない理由は何ですか（複数可）。

住みたくない理由では、生活の場として楽しくないが最も多く（28.1%）、東京や仙台など大都市で生活したい（25.1%）、一生働く場としては満足できない（24.6%）が続く。



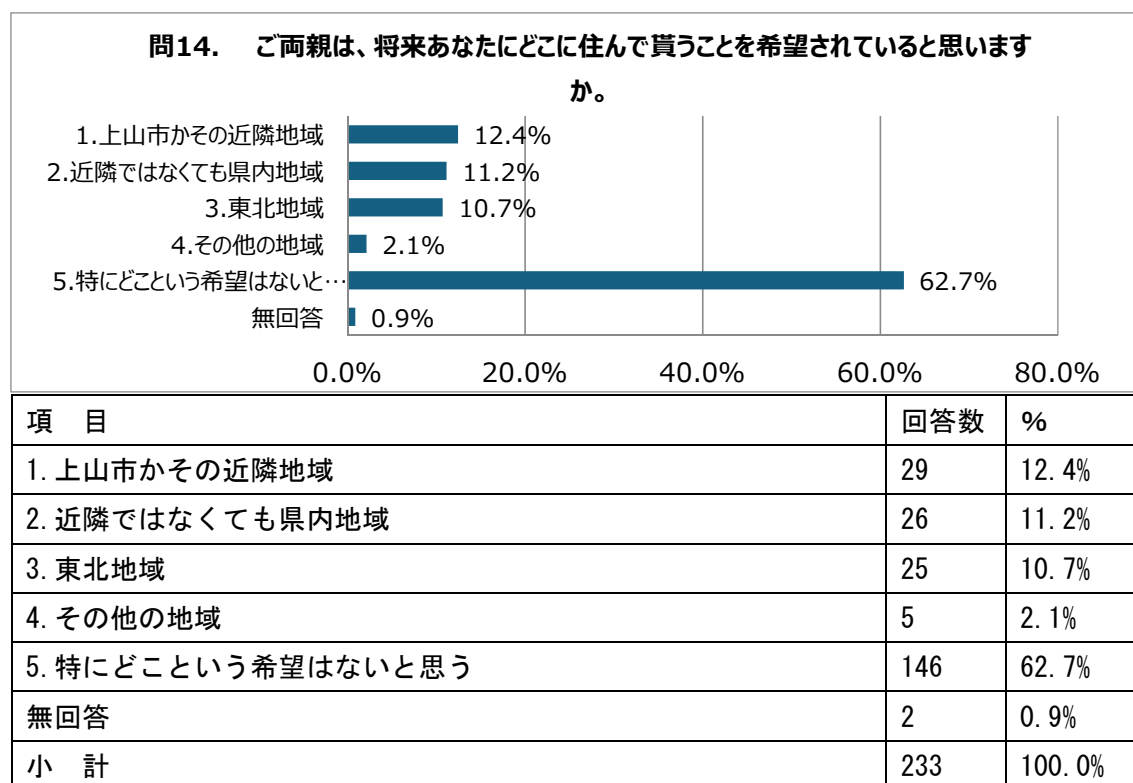
項 目	回答数	%
1. 一生働く場としては満足できない	41	24.6%
2. 生活の場として楽しくない	47	28.1%
3. 地域のつながりが煩わしい	5	3.0%
4. 教育環境が貧弱で子供が可哀想	5	3.0%
7. 冬の生活がいや	11	6.6%
8. 東京や仙台など大都市で生活したい	42	25.1%
9. 外国で生活したい	11	6.6%
10. その他	4	2.4%
無回答	1	0.6%
小 計	167	100.0%

問 13-2 10. その他（自由記述）

- 他に住みたい場所がある
- 特に理由はない
- 日本海側だから

問 14 ご両親は、将来あなたにどこに住んで貰うことを希望されていると思いますか。

両親の居住地の希望は、特にどこという希望は無いと思うとする回答が6割を超えた(62.7%)。

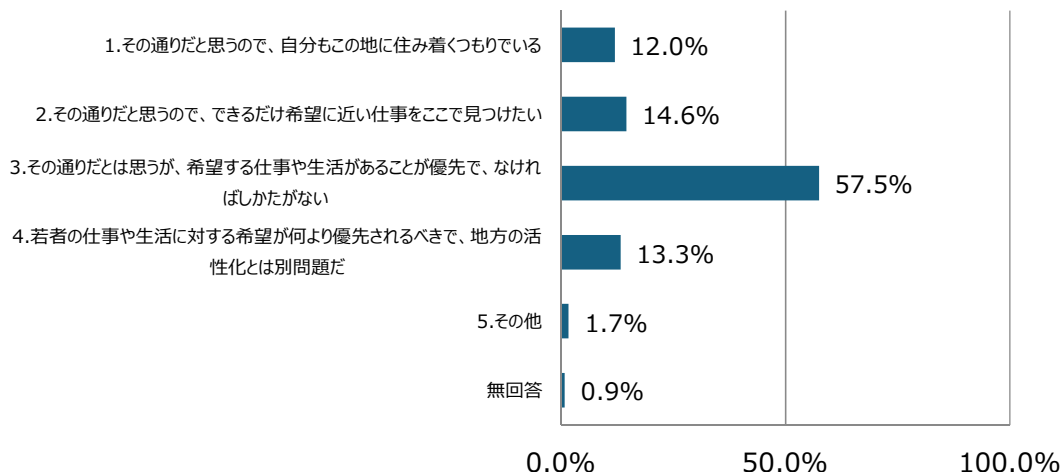


問 15 地方が活性化するには、これまでのように多くの若者が地方を離れるのではなく、将来を担う若者の多くが地方に定着することが必要条件ですが、あなたはどのように思いますか。

地方の活性化のために若者の地方への定着が必要と考えるかどうかについては、その通りだとは思いますが、希望する仕事や生活があることが優先で、なければしかたがないとする回答が57.5%で最も多かった。

一方、その通りだと思うので、自分もこの地に住み着くつもりでいる(12.0%)、その通りだと思うので、できるだけ希望に近い仕事をここで見つけたい(14.6%)の計26.6%は、この考え方に肯定的な回答だった。

問15 地方が活性化するには、これまでのように多くの若者が地方を離れるのではなく、将来を担う若者の多くが地方に定着することが必要条件ですが、あなたはどのように思いますか。



項 目	回答数	%
1. その通りだと思うので、自分もこの地に住み着くつもりでいる	28	12. 0%
2. その通りだと思うので、できるだけ希望に近い仕事をここで見つけたい	34	14. 6%
3. その通りだとは思いますが、希望する仕事や生活があることが優先で、なければしかたがない	134	57. 5%
4. 若者の仕事や生活に対する希望が何より優先されるべきで、地方の活性化とは別問題だ	31	13. 3%
5. その他	4	1. 7%
無回答	2	0. 9%
小 計	233	100. 0%

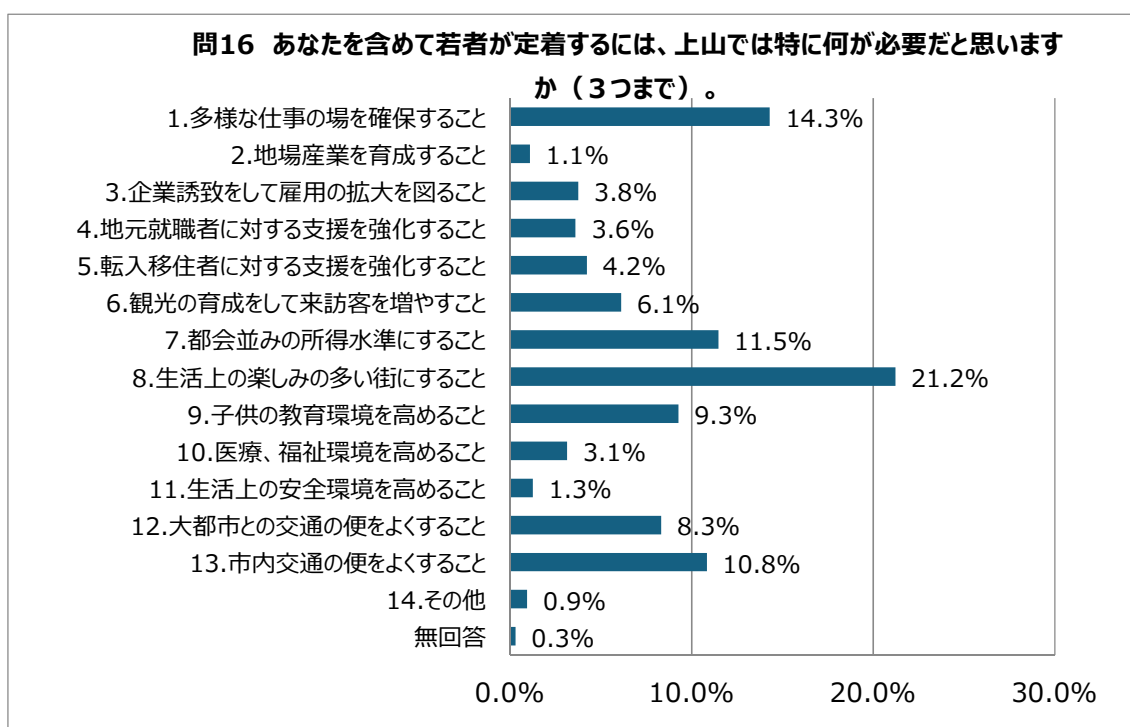
問 15 5. その他（自由記述）

- 若者が集まるために、独自の支援策（育児、医療）が必要でありこういった何かしらの独自性がなければ、若者は目もくれないと思う。
- 地方が活性化することは、「若者が魅力を感じるから若者が住み着く」のではないか。そういった魅力が感じられないため、地元をはなれて生活する人が多いと思う。
- 各地方が活性化するのはとても大切なことではあると思うが、今後大都市ですら人口が減少していくことが明確なこの時代、人口が集中して生活基盤が充実した街を維持していくことの方が持続可能であるのではないかとも思う。

- 若年層から支持をされるような企業を増やすべきであると感じる。地方定着は言い換えれば地方就職であると感じる。地方に魅力を感じるようになるまでには長期的なビジョンが必要なため、若年層が就職したい優良企業を呼び込むことが必要である

問 16 あなたを含めて若者が定着するには、上山では特に何が必要だと思いますか（3つまで）。

若者の定着に必要なことについては、「生活上の楽しみの多い街にすること」が最も多く（21.2%）、「多様な仕事の場を確保すること」（14.3%）、「都会並みの所得水準にすること」（11.5%）、「市内交通の便をよくすること」（10.8%）が続いた。



項 目	回答数	%
1. 多様な仕事の場を確保すること	91	14.3%
2. 地場産業を育成すること	7	1.1%
3. 企業誘致をして雇用の拡大を図ること	24	3.8%
4. 地元就職者に対する支援を強化すること	23	3.6%
5. 転入移住者に対する支援を強化すること	27	4.2%
6. 観光の育成をして来訪客を増やすこと	39	6.1%
7. 都会並みの所得水準にすること	73	11.5%
8. 生活上の楽しみの多い街にすること	135	21.2%
9. 子供の教育環境を高めること	59	9.3%

10. 医療、福祉環境を高めること	20	3.1%
11. 生活上の安全環境を高めること	8	1.3%
12. 大都市との交通の便をよくすること	53	8.3%
13. 市内交通の便をよくすること	69	10.8%
14. その他	6	0.9%
無回答	2	0.3%
小 計	636	100.0%

問 16 14. その他（自由記述）

- 空き家を減らすこと上山の魅力を活かすこと
- 東京に勝てない。
- どれが大事かわからない
- 暮らしやすさ
- もっと流行に乗った店などを増やす、
- 女性支援(特に若い女性)

問 17 あなたを含めて若者が将来上山に定着するために、行政や事業者、あるいは地域の取組としてどのようなことが必要と考えますか。ご自由にお書きください。

※判読不能だった文字を「●」で示している。

- 特になし
- ・人工●など、運動施設をもっと充実させてほしいです。・上山には、本屋が無いので、作ってほしいです。
- もっと楽しい街にしてほしい。不便である。周りの友人にも上山は遠いと言われるので言われたいような街にしてほしい
- 上山は、何も無いので若者が楽しめるように、今後、カフェとか、服屋さんとか、レストランなどができると良いと思います。（ドラックストアなどが多すぎると思う）
- 交通の便や所得水準をよくすることは今の上山には難しいと思う。若者が定着するためには、まず若者の視点に立ち、現状を見つめてほしいと感じる。ただでさえも若者が少ないのに、「若者を定着させる」ことを目指すのであれば、今いる若者の意見や考え方が尊重される体制を整えていただきたいと切実に思う。
- 奨学金返還支援 子育て支援
- 居酒屋さん(若い人向けの) 城下町の復興(利用してほしいせっかくだから)
- 若い人に積極的に意見を聞いて、できる限り実現してほしい。魅力的な街づくりをがん

ばってほしい。インスタ映えするようなきれいな街になれば、自然と人は集まってくる。今は、とても残念な街としか言いようがない。若い市長さんに期待しています。

- 観光産業への取り組みが中途半端だと思う。温泉街として観光誘致を図っていくなら、「入浴無料デー」などを設けるなどして、思い切った取り組みをしないと、人は来ない。また、市民の意見が伝わりにくいような環境なので、老若男女問わず、市民の要望が直接的に伝わるような取り組みをした方がよい。市議会だけでは不十分。(夏祭りに市政ブースを訪置し、意見を集めるとか。意見箱だけでは見向きもされない。)
- 子育て支援を極め、若者そして人を増やし、税収を確保、そして MARCH 位の大学を作る。そして居酒屋を増やす。(駅前)そして、企業を増やす。●の就職先を●発展させ、盛岡・福島位は倒す。
- 大規模な工場を誘致すること。
- 空き地を利用して商業施設をふやす必要があるとかんじている。
- もし若年層に出て行ってほしくないのであれば、都会ほどでなくても、ある程度の楽しみを見い出せる場所を作るべき。
- イベントごとを増やす。
- 交通の便を良くした方が良く考える。
- 特になし
- とくになし
- 人を集める努力
- 若者の遊べる場所を増やす
- 交通の便をよくする
- 交通の便を良くすること、電車が来るペースを短くしていくこと
- 遊ぶ場所を増やす
- ライブハウスを作る。山とかで坂多くて移動きついのやばい。フェスを開催(やる時は自分もやる)カラオケとか無くなって、遊び行く時山形市行くからそういう場所を上山に作ってほしい
- 楽しい場所を作る。
- 交通の便がよくなるとうれしいです。
- 来たくなるような街づくり
- 若者が行きたいと思う、店を行きやすい(交通の便が良いところ)に多く建てたりしたらいいかと考える。
- 上山の魅力(地域の特産物や文化、自然)などを前面に押し出した PR をしていけばいいと思います。
- イベントを開催する。
- 娯楽がほしい！！
- 話題になるもの(全国的に)や娯楽になるものを増やす。

- 特になし
- 支援を多くする。
- 建物を増やして楽しめる地域にする。
- ・スタバほしい。・電車本数少ない。・本屋・服屋欲しい。・飲食店・コンビニ位置悪い。・ラブホ・薬局多すぎ。・若者に当たり強い。
- 子育て支援や医療制度の充実化が必要。
- 若者向けの施設をつくる
- 上山で何か大きな遊べる施設を作ったらいいと思う。
- ・多様な仕事の間を確保し、交通の便をよくすること。
- 交通の便が良いことが必要だと思う。
- 若者も楽しめる遊び場などをつくる
- 興味を持ってもらえるような PR
- 都市化を進めていく必要がある。
- 電車の本数を増やすこと。
- 電車の本数を増やし●こと
- ・働きやすいようにする・交通の便をよくする
- 地域を活性化させる
- 観光の取り組みを高める。
- 働く場所を活性化させること
- 店を増やす、都市化を進める
- 上山市の特徴を生かす。
- 若者が楽しめるような施設を作ったらいいと思う。
- 商業施設、生活に必要な施設 所得の水準、交通の便(電車の本数など)
- スーパーや、若者が楽しめる行事や施設を増やすことが必要。
- 若者へのアプローチが必要。
- 教育・生活環境の向上。
- 便利でたのしいお店をふやす。
- 遠いし出来ることはあっても●ないと思った。
- むずかしい。
- もっと若者が上山の魅力について知る機会を増やす。交通の便をよくする。
- 観光地をつくって、生活上の楽しみの多い場所にする。
- 就職できるお店、就職したくなるお店を増やして、若者を集める。
- 若者向けの施設を増やしてほしい。交通の便を良くしてほしい。
- 若者に人気な店をたくさん増やしていく。
- ・お店を増やす。
- ゴミ広い活動

- 地域のイベント等を増やす。
- 地域のイベントを増やす。
- 地域の楽しい行事を増やす
- 人が多く集まるように、観光地をアピールしたり、交通の便をよくすることが必要だと思います。
- 電車などの交通便を増やしたり、観光地の魅力を広めていく、誰もが行きたくするような商業施設を増やす。
- 都市としての価値を上げるべき
- 転入移住者に対する支援を強化して、メリットを増やすこと。
- 転入移住者に対する支援を強化すること
- ・都会と同じようにたくさんの仕事があること。・どこにでもいきやすいように交通をふやすこと。
- 職種の幅を広げる
- きたくなるような町にすればいい●なと思う。
- もっと店を増やしたほうがいいと思います
- 若い人の福祉をよくする
- 医療費を安くする
- 若者がいける店を増やす。
- 小・中・高校生が楽しめる、施設が少なすぎる。もっと設置するべきである
- 所得水準を上げる。
- 上山の魅力をもっと発信する。
- 娯楽施設の設置。特にかみのやま温泉駅前。
- 上山駅周辺をもっとにぎやかにする。店を増やす。
- 愛●をもって取組むこと。
- 若者が楽しいと感じる物を上山につくる
- 駅周辺を活性化させ上山駅に着いたときの印象をよく感じてもらえるように、飲食店、●機など、設立し盛り上げる
- 観光地を活性化させる
- 都市化させる
- 明石市のような行政を行いましょう。
- 街の活生化、若者が増える。
- ●ターンなどでもどってきた元市民に対する支援活動をふやす
- イベントの開催
- 生活の娯楽を増やすこと。電車の便増やす。
- 遊ぶところを増やす。
- チェーン店が必要

- いろんな店が必要だと思います。
- もっとお店や遊ぶ所を増やせば良いと思う。
- 交通の便をよくする。
- もっとお店をふやすべき。
- 楽しいイベントなどをもっと行う
- 楽しめる場所を増やす
- 若者が遊べる施設を作る。
- 育てやすいかんきょう
- 所得を増やす
- 少しは都市化すること
- そもそも遊ぶ場所が少なすぎるから、仙台や東京みたいに店や大きいショッピングモールなどをたくさんつくる。電車の本数が少なすぎるから増やす。
- 町おこし。
- 大きなショッピングモールや遊び場など、大型施設をつくること。
- 若者が楽しめるような施設を建てる
- 楽しめるようにする。しせつを作る商店街をつくる 子どもを育てられるいい環境をつくる
- 親世代が楽に過ごせる街にする
- 交通の便をふやす。
- 所得を上げる
- 地元の人が楽しめるしせつを作る。
- 特になし
- 生活するうえでたのしいと思えるような地域にする。
- ・人気のあるお店を増やす・小さい子どもからお年よりまでが行けるお店を建てる
- 娯楽施設の多様化 建物をきれいにする 店を増やす イオンを建てる
- 給料を少しでも上げる。
- 上山にどんな事業があるのか知ってもらう機会をつくる。
- 若者の意見を取り入れた政策を行うこと
- 上山は山形市が隣ということで暮らしやすいと思います。ですが、街はシャッターが多く駅前ですら何があるかわからない状況であります。もっと若者が上山を誇ることができるようにお店が増えることだったり、それが現実的でなかったとしても道が綺麗になったり夜道が明るくなったりしたらいいなと思います。
- 子供が遊べる場所や、商業施設施設を作る。また商店街を綺麗にすることや、駅前に売りとなるものを作るなど
- 就職の場だけでなく、娯楽施設などの遊べる場所を増やす
- “アウトレットなどのような大型商業施設の誘致。

- 若者向けの店舗をメインとした複合型施設の設置。”
- 最低賃金を上げる、上山温泉駅前をもっと活性化させる。
- 子供に対する医療保険などの取り組みや税制の優遇をある程度図った上で、内外にアピールすること。
- もっと若者向けの店を増やす
- 少子高齢化に伴い年々人口は減少しているため交通便や仕事場、観光スポットを増やしスポットを当てつつ、支援の取り組み方や地域活性化のための宣伝を行う
- 娯楽施設の建設
- 自治体トップを優秀なビジネス経験者に変えて、トップ周辺の人材もトップに伴い意思転換する。
- 特になし
- 花火をもっと豪華にしてほしい
- 地元就職者に対する支援を強化し、若者が情報を取得できるようにすること
- 都会へ上京する理由の多くは高い所得と豊富な遊び場があることだと思うので、日常的に利用しやすい遊び場や娯楽の充実が必要。
- 女性支援政策をしなければ、女性は仕事を見つける前にそもそも都市に行くため、いくら子育て政策をしても意味がない。
- “仕事と余暇の両方を十分に楽しむことができるような取り組みを行うべきだと考える。
- 企業の誘致や若者向けの施設を作るなど、若者へのアプローチが必要だと考える。”
- 書店やチェーン店などの誘致を行う必要があると考えられる。
- 飲食で地域活性化
- 地域産業の魅力を小学生に伝える機会を提供するべきであると考ええる。
- 特になし
- イベントや商業施設、娯楽施設を増やす
- 子供の居る家庭が養育に余裕を持てるくらいの行政からの支援を行うことと、住む場所を求めやすくする(簡単にいえば安くなる)こと。

(2) クロス集計結果

属性別の意識や希望の違いを把握するため、一部の設問についてクロス集計を行った。なお、再掲する設問内容については、記述を省略している場合がある。

① 性別による違い

示唆 1: 希望する仕事の市内での有無 (問 12)

女性は男性よりも市内に希望する仕事があると感じている割合が高い。これは、女性が市内での就業機会に対して比較的肯定的な見方を持っていることを示している。

男性は女性よりも「どちらともいえない」と答える割合が高い。これは、男性が市内での就業機会に対して不確定な見方を持っていることを示している。

示唆 2: 定住意向 (問 13)

男性は女性よりも「住むつもり」と答える割合が高い。これは、男性が市内での定住に対して比較的肯定的な見方を持っていることを示している。

女性は男性よりも「仕事があっても住みたくない」と答える割合が高い。これは、女性が市内での定住に対して否定的な見方を持っていることを示している。

示唆 3: 若者の定着への考え (問 15)

男性は女性よりも「その通りだと思うので、自分もこの地に住み着くつもりでいる」と答える割合が高い。これは、男性が市内での定住意向に対して比較的肯定的な見方を持っていることを示している。

女性は男性よりも「その通りだとは思いますが、希望する仕事や生活があることが優先で、なければしかたがない」と答える割合が高い。これは、女性が希望する仕事や生活を優先する傾向が強く、市内での定住に対して厳しい条件を持っていることを示している。

総合的な示唆

女性の就業機会をさらに拡充し、働きやすい環境を整備することが必要である。

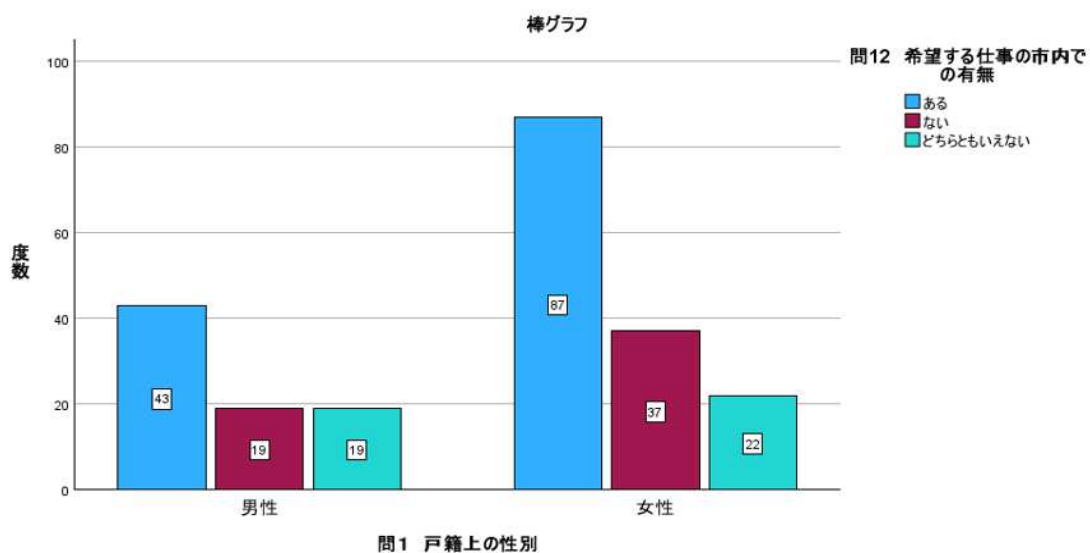
男性に対しては、情報提供やキャリアサポートを強化し、不確定な見方を減らす努力が求められる。

女性の定住意向を高めるためには、生活環境の改善や地域の魅力向上が重要である。

若者のニーズに応じた男女別の施策を展開し、それぞれの定住意向を高めることが必要である。

問 1 戸籍上の性別 と 問 12 希望する仕事の市内での有無 のクロス表

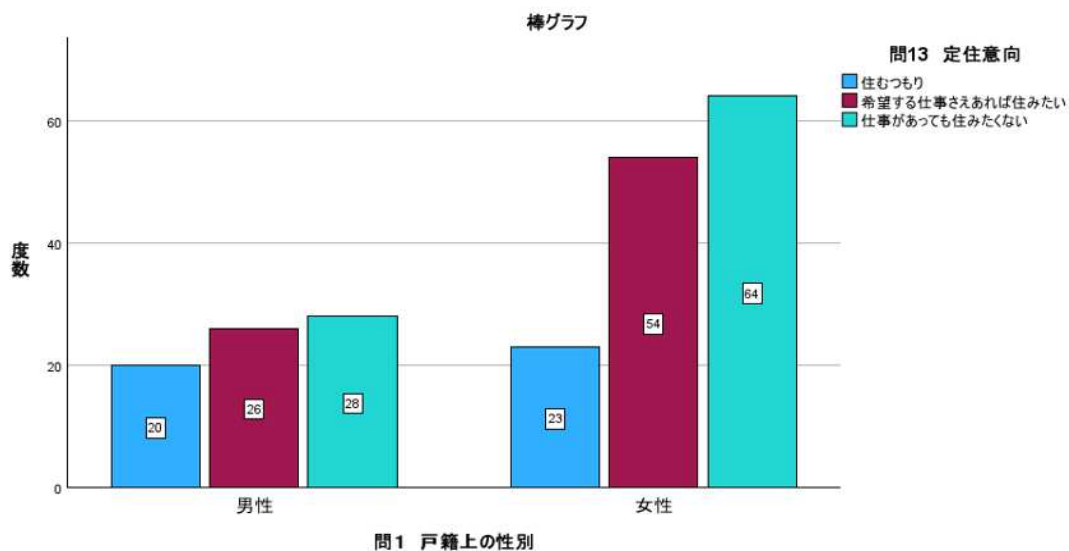
			問 12 希望する仕事の市内での有無			合計
			ある	ない	どちらともいえない	
問 1 戸籍上の性別	男性	度数	43	19	19	81
		問 1 戸籍上の性別の %	53. 1%	23. 5%	23. 5%	100. 0%
	女性	度数	87	37	22	146
		問 1 戸籍上の性別の %	59. 6%	25. 3%	15. 1%	100. 0%
合計		度数	130	56	41	227
		問 1 戸籍上の性別の %	57. 3%	24. 7%	18. 1%	100. 0%



問 1 戸籍上の性別 と 問 13 定住意向 のクロス表

	問 13 定住意向	合計
--	-----------	----

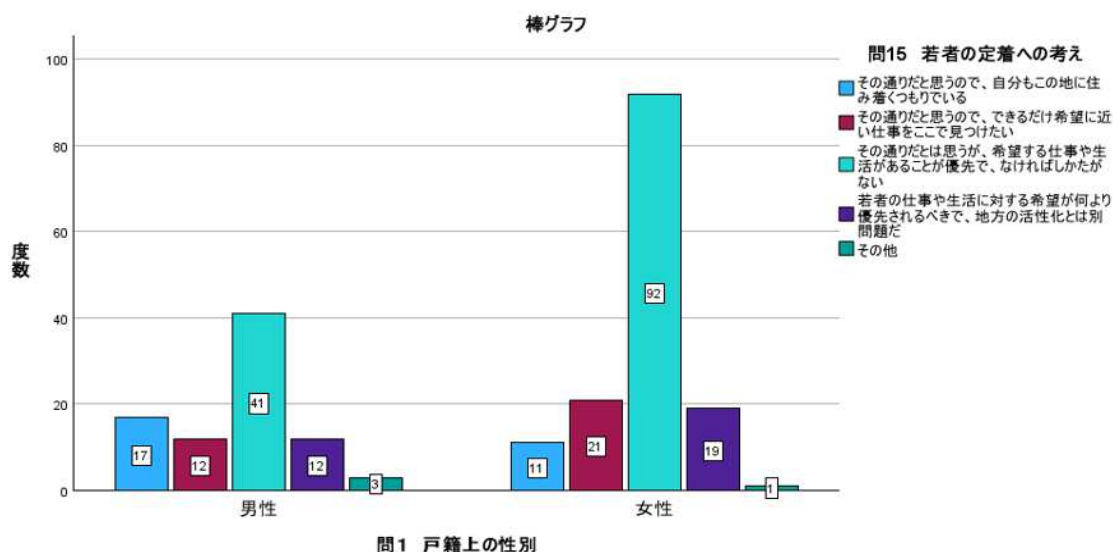
			住むつもり	希望する仕事さえあれば住みたい	仕事があっても住みたくない	
問 1 戸籍上の性別	男性	度数	20	26	28	74
		問 1 戸籍上の性別の %	27. 0%	35. 1%	37. 8%	100. 0%
	女性	度数	23	54	64	141
		問 1 戸籍上の性別の %	16. 3%	38. 3%	45. 4%	100. 0%
合計		度数	43	80	92	215
		問 1 戸籍上の性別の %	20. 0%	37. 2%	42. 8%	100. 0%



問1 戸籍上の性別 と 問15 若者の定着への考え のクロス表

	問15 若者の定着への考え	合計
--	---------------	----

			その通りだ と思うので、自分 もこの地に住み着 くつもりでいる	その通りだ と思うので、でき るだけ希望に近い 仕事をここで見 つけたい	その通りだ と思うが、希望 する仕事や生活が あることが優先 で、なければし かたがない	若者の仕事や 生活に対する希 望が何より優先 されべきで、地 方の活性化と は別問題だ	その他	
問 1 戸籍上の性別	男性	度数	17	12	41	12	3	85
		問 1 戸 籍上の性別の %	20.0%	14.1%	48.2%	14.1%	3.5%	100.0%
	女性	度数	11	21	92	19	1	144
		問 1 戸 籍上の性別の %	7.6%	14.6%	63.9%	13.2%	0.7%	100.0%
合計		度数	28	33	133	31	4	229
		問 1 戸 籍上の性別の %	12.2%	14.4%	58.1%	13.5%	1.7%	100.0%



② 専攻による違い

示唆1: 希望する仕事の市内での有無（問12）

文系専攻の学生は他の専攻に比べて市内に希望する仕事があると感じる割合が高い（57.5%）。これは文系の学生が市内での就業機会に対して比較的肯定的な見方を持っていることを示している。

理系専攻の学生は「ない」と答える割合が他の専攻に比べて高い（33.3%）。これは理系の学生が市内での就業機会に対して否定的な見方を持っていることを示している。

その他の専攻の学生は「どちらともいえない」と答える割合が他の専攻に比べて低い（12.1%）。これはその他の専攻の学生が市内での就業機会に対して比較的確定的な見方を持っていることを示している。

示唆2: 定住意向（問13）

文系専攻の学生は「仕事があっても住みたくない」と答える割合が最も高い（48.6%）。これは文系の学生が市内での定住に対して否定的な見方を持っていることを示している。

理系専攻の学生は「希望する仕事さえあれば住みたい」と答える割合が最も高い（48.7%）。これは理系の学生が希望する仕事があれば市内での定住を考える傾向が強いことを示している。

その他の専攻の学生は「住むつもり」と答える割合が最も高い（22.7%）。これはその他の専攻の学生が市内での定住に対して比較的肯定的な見方を持っていることを示している。

示唆3: 若者の定着への考え（問15）

文系専攻の学生は「その通りだとは思うが、希望する仕事や生活があることが優先で、な

ければしかたがない」と答える割合が最も高い(62.3%)。これは文系の学生が希望する仕事や生活を優先する傾向が強く、市内での定住に対して厳しい条件を持っていることを示している。

理系専攻の学生は「その通りだと思うので、自分もこの地に住み着くつもりでいる」と答える割合が最も高い(27.3%)。これは理系の学生が市内での定住意向に対して比較的肯定的な見方を持っていることを示している。

その他の専攻の学生は「その通りだと思うので、できるだけ希望に近い仕事をここで見つけたい」と答える割合が他の専攻に比べて高い(20.6%)。これはその他の専攻の学生が希望する仕事を市内で見つけたいと考える傾向が強いことを示している。

総合的な示唆

文系の学生に対しては、生活環境の改善やキャリア支援を強化することが必要である。特に希望する仕事や生活を優先する傾向が強いため、そのニーズに応じた施策が求められる。

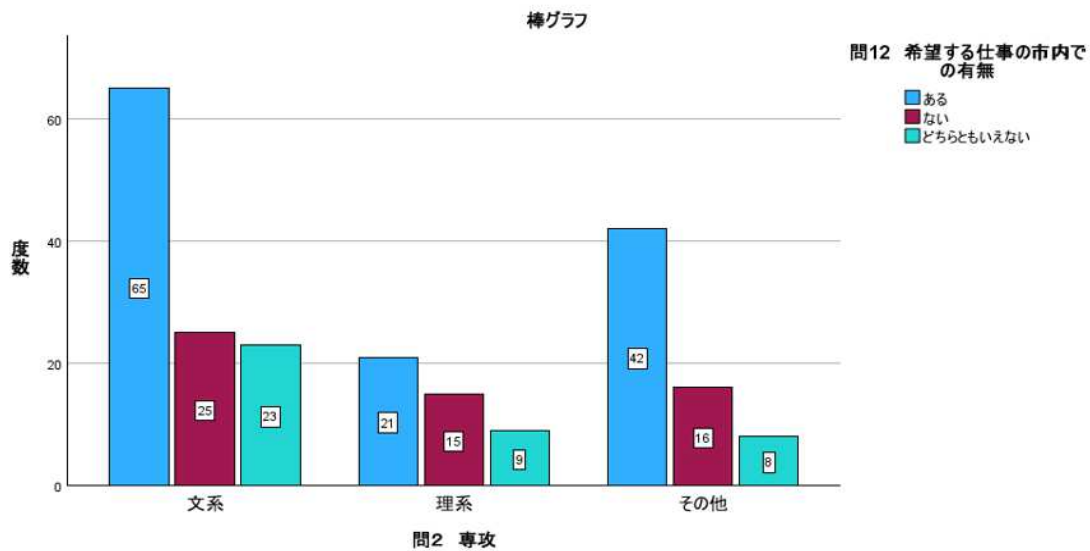
理系の学生に対しては、市内での就業機会の拡充と情報提供を強化することが重要である。理系の学生が希望する仕事があれば定住意向が高まるため、それに応じた施策を展開することが必要である。

その他の専攻の学生に対しては、市内での就業機会の多様性を示し、定住を促進するための施策を展開することが有効である。他の専攻に比べて比較的確定的な見方を持っているため、その特性を活かす施策が求められる。

問 2 専攻 と 問 12 希望する仕事の市内での有無 のクロス表

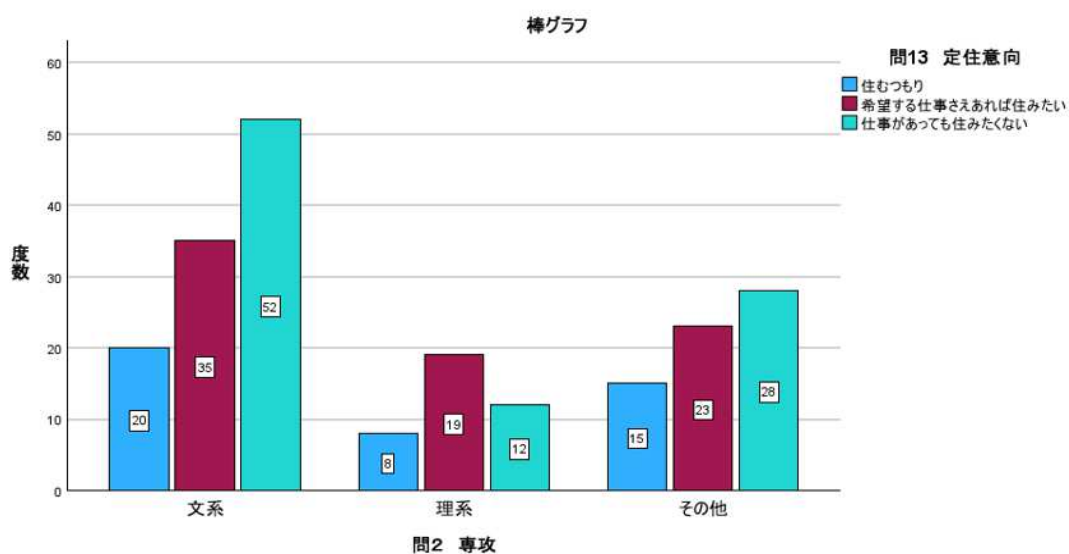
			問 12 希望する仕事の市内での有無			合計
			ある	ない	どちらともいえない	
問 2 専攻	文系	度数	65	25	23	113
		問 2 専攻の %	57.5%	22.1%	20.4%	100.0%
	理系	度数	21	15	9	45
		問 2 専攻の %	46.7%	33.3%	20.0%	100.0%
	その他	度数	42	16	8	66
		問 2 専攻の %	63.6%	24.2%	12.1%	100.0%

合計	度数	128	56	40	224
	問 2 専攻 の %	57.1%	25.0%	17.9%	100.0%



問 2 専攻 と 問 13 定住意向 のクロス表

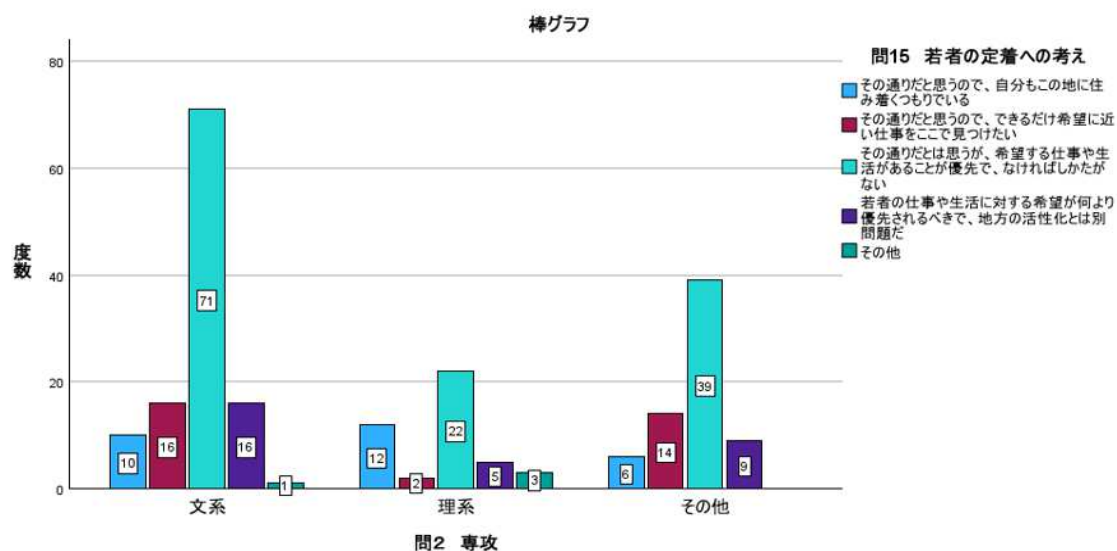
			問 13 定住意向			合計
			住むつもり	希望する 仕事さえ あれば住 みたい	仕事があ っても住 みたくな い	
問 2 専攻	文系	度数	20	35	52	107
		問 2 専攻 の %	18. 7%	32. 7%	48. 6%	100. 0%
	理系	度数	8	19	12	39
		問 2 専攻 の %	20. 5%	48. 7%	30. 8%	100. 0%
	その他	度数	15	23	28	66
		問 2 専攻 の %	22. 7%	34. 8%	42. 4%	100. 0%
合計		度数	43	77	92	212
		問 2 専攻 の %	20. 3%	36. 3%	43. 4%	100. 0%



問2 専攻 と 問15 若者の定着への考え のクロス表

			問15 若者の定着への考え					合計
			その通りだと思ふので、自分もこの地に住み着くつもりでいる	その通りだと思ふので、できるだけ希望に近い仕事をここで見つけた	その通りだと思ふが、希望する仕事や生活があることが優先で、なければしかな	若者の仕事や生活に対する希望が何より優先されるべきで、地方の活性化とは別問題だ	その他	
問2 専攻	文系	度数	10	16	71	16	1	114
		問2 専攻の %	8.8%	14.0%	62.3%	14.0%	0.9%	100.0%
	理系	度数	12	2	22	5	3	44
		問2 専攻の %	27.3%	4.5%	50.0%	11.4%	6.8%	100.0%
	その他	度数	6	14	39	9	0	68

		問2 専攻の%	8.8%	20.6%	57.4%	13.2%	0.0%	100.0%
合計	度数		28	32	132	30	4	226
	問2 専攻の%		12.4%	14.2%	58.4%	13.3%	1.8%	100.0%



③ 第一子かそれ以外かによる違い

示唆 1: 希望する仕事の市内での有無 (問 12)

第一子（長男・長女）とそれ以外の両者ともに市内に希望する仕事があると感じる割合はほぼ同じ（それぞれ 56.0%と 59.6%）。これは、第一子かそれ以外かに関わらず、市内での就業機会に対する見方が似ていることを示している。

第一子（長男・長女）は「ない」と答える割合がやや高い（26.4%）。これは、第一子が市内での就業機会に対してやや否定的な見方を持っていることを示している。

それ以外の子は「どちらともいえない」と答える割合がやや低い（17.2%）。これは、それ以外の子が市内での就業機会に対して比較的確定的な見方を持っていることを示している。

示唆 2: 定住意向 (問 13)

第一子（長男・長女）は「住むつもり」と答える割合がやや高い（22.2%）。これは、第一子が市内での定住意向に対して比較的肯定的な見方を持っていることを示している。

それ以外の子は「希望する仕事さえあれば住みたい」と答える割合が高い（42.1%）。これは、それ以外の子が希望する仕事があれば市内での定住を考える傾向が強いことを示している。

第一子（長男・長女）は「仕事があっても住みたくない」と答える割合が高い（45.3%）。これは、第一子が市内での定住に対して否定的な見方を持っていることを示している。

示唆 3: 若者の定着への考え（問 15）

第一子（長男・長女）は「その通りだとは思うが、希望する仕事や生活があることが優先で、なければしかたがない」と答える割合が高い（55.1%）。これは、第一子が希望する仕事や生活を優先する傾向が強く、市内での定住に対して厳しい条件を持っていることを示している。

それ以外の子は「その通りだと思うので、できるだけ希望に近い仕事をここで見つけたい」と答える割合が高い（16.2%）。これは、それ以外の子が希望する仕事を市内で見つけたいと考える傾向が強いことを示している。

それ以外の子は「若者の仕事や生活に対する希望が何より優先されるべきで、地方の活性化とは別問題だ」と答える割合がやや低い（11.1%）。これは、それ以外の子が地方の活性化と若者の希望をそれほど対立的に見ていないことを示している。

総合的な示唆

第一子（長男・長女）に対しては、生活環境の改善やキャリア支援を強化し、希望する仕事や生活を実現できる環境を整備することが必要である。特に市内での定住意向を高めるために、そのニーズに応じた施策が求められる。

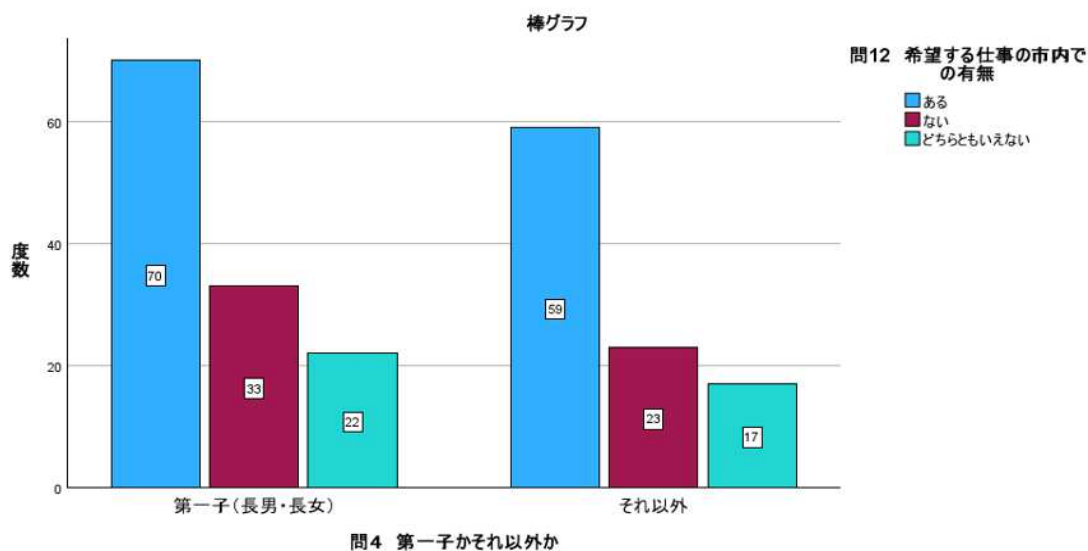
それ以外の子に対しては、市内での就業機会の多様性を示し、希望する仕事を見つける支援を行うことが重要である。希望する仕事さえあれば定住意向が高まるため、それに応じた施策を展開することが必要である。

全体として、若者が希望する仕事や生活を実現できるような地域づくりを進めることが、定住意向を高めるための鍵である。第一子かそれ以外かに関わらず、それぞれのニーズに応じた施策を展開することが求められる。

問 4 第一子かそれ以外か と 問 12 希望する仕事の市内での有無 のクロス表

			問 12 希望する仕事の市内での有無			合計
			ある	ない	どちらともいえない	
問 4 第一子かそれ以外か	第一子（長男・長女）	度数	70	33	22	125
		問 4 第一子かそれ以外かの %	56.0%	26.4%	17.6%	100.0%
	それ以外	度数	59	23	17	99

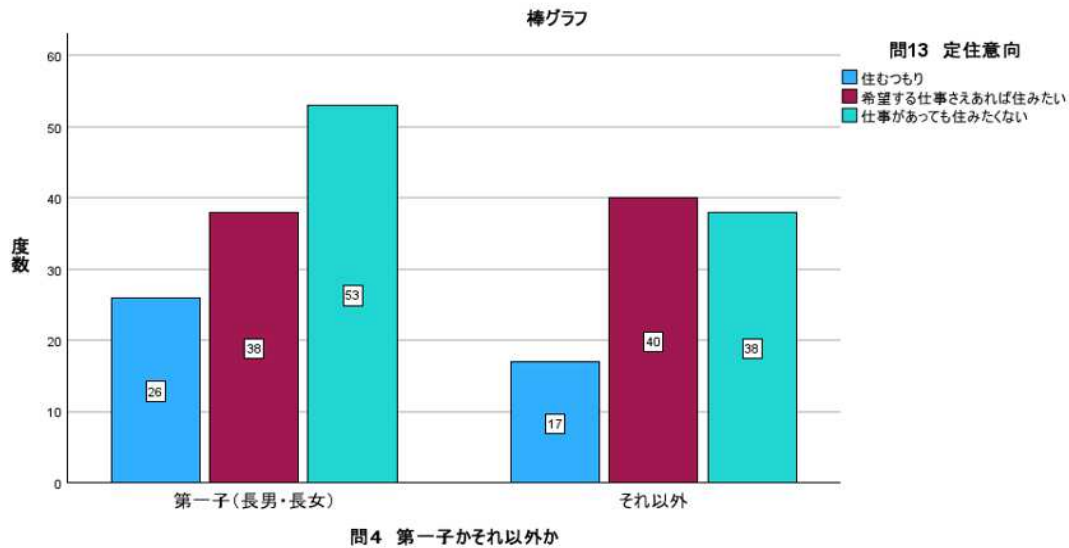
		問 4 第一子かそれ以外かの %	59.6%	23.2%	17.2%	100.0%
合計		度数	129	56	39	224
		問 4 第一子かそれ以外かの %	57.6%	25.0%	17.4%	100.0%



問 4 第一子かそれ以外か と 問 13 定住意向 のクロス表

			問 13 定住意向			合計
			住むつもり	希望する仕事さえあれば住みたい	仕事があっても住みたくない	
問 4 第一子かそれ以外か	第一子（長男・長女）	度数	26	38	53	117
		問 4 第一子かそれ以外かの %	22. 2%	32. 5%	45. 3%	100. 0%
	それ以外	度数	17	40	38	95
		問 4 第一子かそれ以外かの %	17. 9%	42. 1%	40. 0%	100. 0%
合計		度数	43	78	91	212

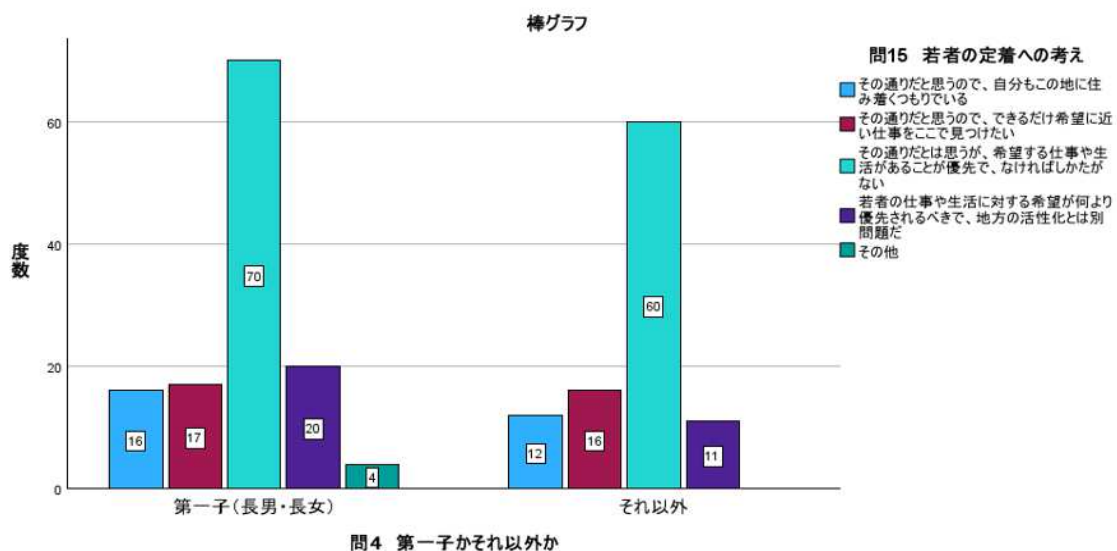
	問 4 第一子かそれ以外かの %	20.3%	36.8%	42.9%	100.0%
--	------------------	-------	-------	-------	--------



問 4 第一子かそれ以外か と 問 15 若者の定着への考え のクロス表

			問 15 若者の定着への考え					合計
			その通りだと思ふので、自分もこの地に住み着くつもりでいる	その通りだと思ふので、できるだけ希望に近い仕事をここで見つけたい	その通りだと思ふが、希望する仕事や生活があることが優先で、なければいけない	若者の仕事や生活に対する希望が優先されるべきで、地方の活性化とは別問題だ	その他	
問 4 第一子かそれ以外か	第一子(長男・長女)	度数	16	17	70	20	4	127
		問 4 第一子かそれ以外か	12.6%	13.4%	55.1%	15.7%	3.1%	100.0%

		の %						
	それ以外	度数	12	16	60	11	0	99
		問4 第一子かそれ以外かの %	12.1%	16.2%	60.6%	11.1%	0.0%	100.0%
合計		度数	28	33	130	31	4	226
		問4 第一子かそれ以外かの %	12.4%	14.6%	57.5%	13.7%	1.8%	100.0%



④ 住まいによる違い

示唆1: 希望する仕事の市内での有無 (問12)

「ずっと上山市」に住んでいる人は、市内に希望する仕事があると感じる割合が最も高い(70.7%)。これは、上山市に住み続けている人が市内での就業機会に対して非常に肯定的な見方を持っていることを示している。

「上山市ではないがずっと山形県内」に住んでいる人は、「ない」と答える割合が最も高い(28.4%)。これは、山形県内に住んでいるが上山市に住んでいない人が市内での就業機会に対してやや否定的な見方を持っていることを示している。

「県外」に住んでいる人は、「どちらともいえない」と答える割合が最も高い(30.0%)。これは、県外に住んでいる人が市内での就業機会に対して不確定的な見方を持っていることを示している。

示唆 2: 定住意向 (問 13)

「ずっと上山市」に住んでいる人は、「住むつもり」と答える割合が最も高い (35.7%)。これは、上山市に住み続けている人が市内での定住意向に対して非常に肯定的な見方を持っていることを示している。

「上山市ではないがずっと山形県内」に住んでいる人は、「仕事があっても住みたくない」と答える割合が最も高い (53.6%)。これは、山形県内に住んでいるが上山市に住んでいない人が市内での定住に対して否定的な見方を持っていることを示している。

「県外」に住んでいる人は、「希望する仕事さえあれば住みたい」と答える割合が最も高い (52.6%)。これは、県外に住んでいる人が希望する仕事があれば市内での定住を考える傾向が強いことを示している。

示唆 3: 若者の定着への考え (問 15)

「ずっと上山市」に住んでいる人は、「その通りだと思うので、自分もこの地に住み着くつもりでいる」と答える割合が最も高い (22.0%)。これは、上山市に住み続けている人が市内での定住意向に対して非常に肯定的な見方を持っていることを示している。

「上山市ではないがずっと山形県内」に住んでいる人は、「その通りだとは思うが、希望する仕事や生活があることが優先で、なければしかたがない」と答える割合が最も高い (59.3%)。これは、山形県内に住んでいるが上山市に住んでいない人が希望する仕事や生活を優先する傾向が強く、市内での定住に対して厳しい条件を持っていることを示している。

「県外」に住んでいる人は、「若者の仕事や生活に対する希望が何より優先されるべきで、地方の活性化とは別問題だ」と答える割合が最も高い (15.8%)。これは、県外に住んでいる人が地方の活性化と若者の希望を対立的に見ていることを示している。

総合的な示唆

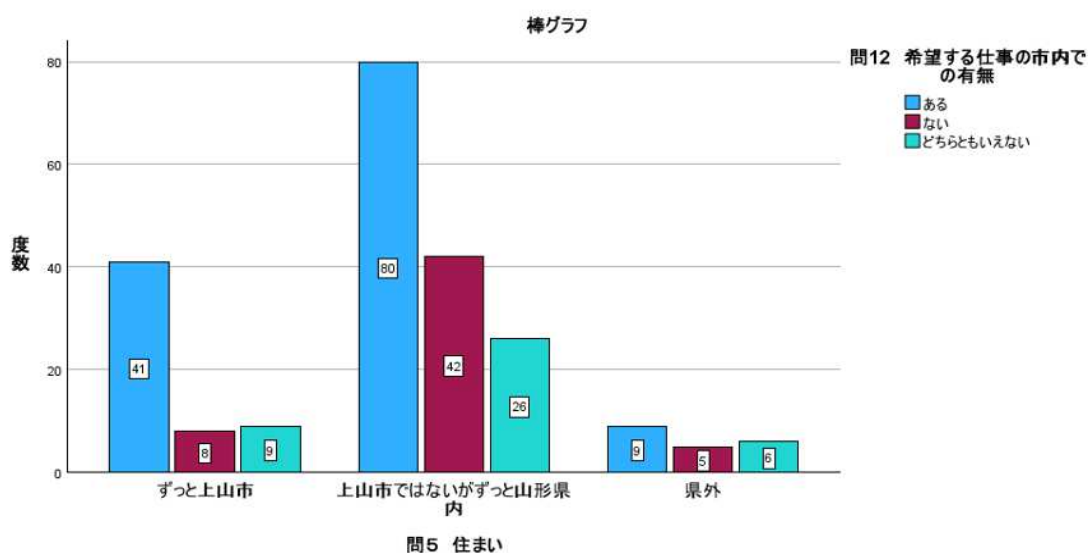
「ずっと上山市」に住んでいる人に対しては、生活環境の維持とさらなる向上を図り、定住意向を高める施策が重要である。特に市内での就業機会に対して非常に肯定的な見方を持っているため、その特性を活かす施策が有効である。

「上山市ではないがずっと山形県内」に住んでいる人に対しては、市内での就業機会の拡充と情報提供を強化し、否定的な見方を減らす努力が必要である。希望する仕事や生活を実現できる環境を整備することが求められる。

「県外」に住んでいる人に対しては、市内での魅力を発信し、希望する仕事が見つかるような支援を行うことが重要である。特に希望する仕事があれば定住意向が高まるため、それに応じた施策を展開することが必要である。

問5 住まいと問12 希望する仕事の市内での有無のクロス表

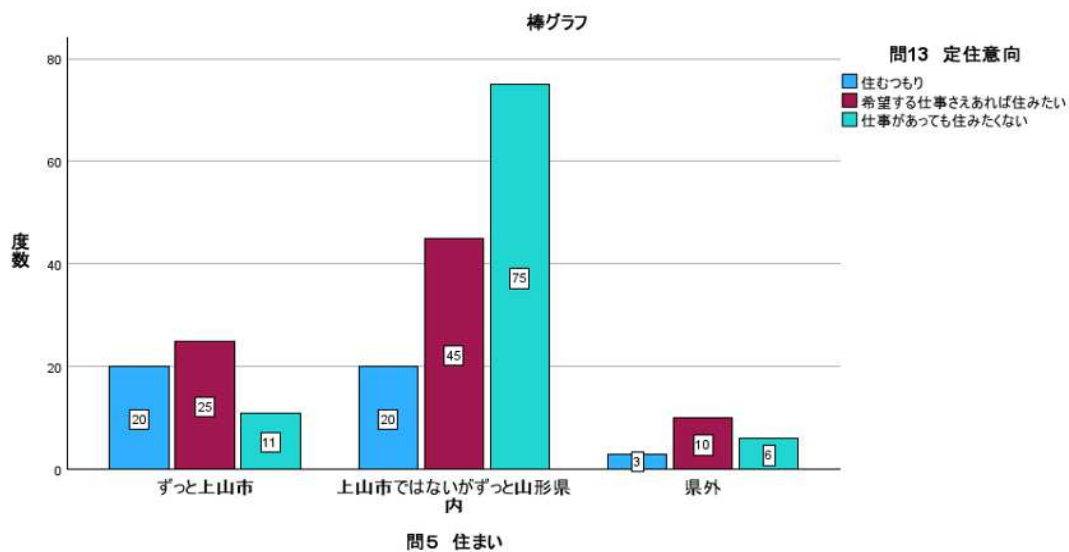
			問 12 希望する仕事の市内での有無			合計
			ある	ない	どちらともいえない	
問 5 住まい	ずっと上山市	度数	41	8	9	58
		問 5 住まいの %	70. 7%	13. 8%	15. 5%	100. 0%
	上山市ではないがずっと山形県内	度数	80	42	26	148
		問 5 住まいの %	54. 1%	28. 4%	17. 6%	100. 0%
	県外	度数	9	5	6	20
		問 5 住まいの %	45. 0%	25. 0%	30. 0%	100. 0%
合計		度数	130	55	41	226
		問 5 住まいの %	57. 5%	24. 3%	18. 1%	100. 0%



問5 住まいと問13 定住意向のクロス表

			問13 定住意向			合計
			住むつもり	希望する仕事さえ	仕事があっても住	

				あれば住 みたい	みたくな い	
問 5 住ま い	ずっと上山 市	度数	20	25	11	56
		問 5 住ま い の %	35. 7%	44. 6%	19. 6%	100. 0%
	上山市では ないがずっ と山形県内	度数	20	45	75	140
		問 5 住ま い の %	14. 3%	32. 1%	53. 6%	100. 0%
	県外	度数	3	10	6	19
		問 5 住ま い の %	15. 8%	52. 6%	31. 6%	100. 0%
合計		度数	43	80	92	215
		問 5 住ま い の %	20. 0%	37. 2%	42. 8%	100. 0%

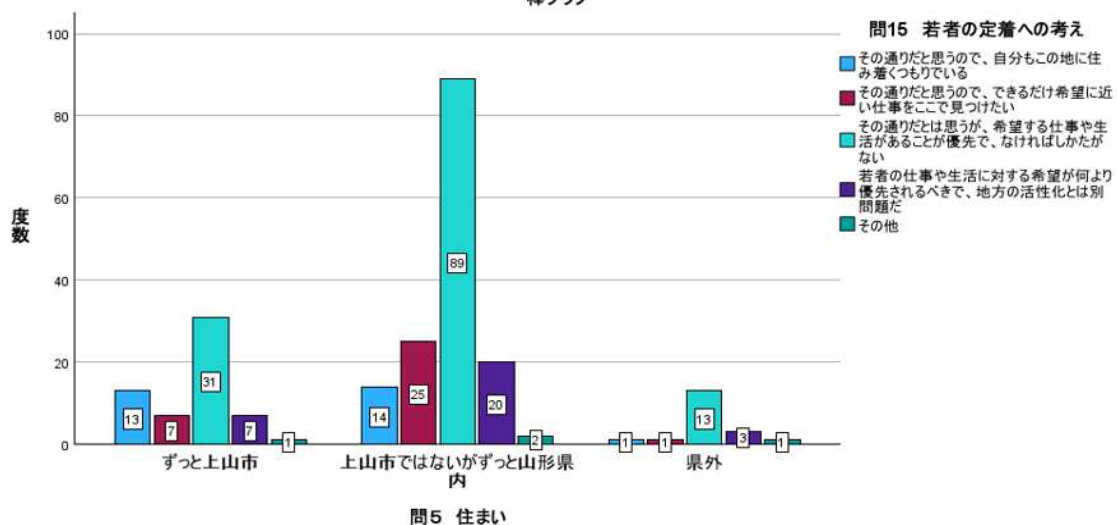


問 5 住まい と 問 15 若者の定着への考え のクロス表

	問 15 若者の定着への考え					合計
	その通 りだと 思うの で、自分 もこの 地に住 み着く	その通 りだと 思うの で、でき るだけ 希望に 近い仕	その通 りだと は思う が、希望 する仕 事や生 活があ	若者の 仕事や 生活に 対する 希望が 何より 優先さ	そ の 他	

			つもり でいる	事をこ こで見 つけた い	ること が優先 で、なけ ればし かたが ない	れるべ きで、地 方の活 性化と は別問 題だ		
問 5 住まい	ずっと 上山市	度数	13	7	31	7	1	59
		問 5 住 ま い の %	22.0%	11.9%	52.5%	11.9%	1.7%	100.0%
	上山市 ではないがず っと山 形県内	度数	14	25	89	20	2	150
		問 5 住 ま い の %	9.3%	16.7%	59.3%	13.3%	1.3%	100.0%
	県外	度数	1	1	13	3	1	19
		問 5 住 ま い の %	5.3%	5.3%	68.4%	15.8%	5.3%	100.0%
合計		度数	28	33	133	30	4	228
		問 5 住 ま い の %	12.3%	14.5%	58.3%	13.2%	1.8%	100.0%

棒グラフ



⑤ 親の出身地による違い

示唆 1: 希望する仕事の市内での有無 (問 12)

「上山市の出身」の親を持つ人は、市内に希望する仕事があると感じる割合が最も高い (69.7%)。これは、親が上山市出身の人が市内での就業機会に対して非常に肯定的な見方を持っていることを示している。

「上山市ではないが山形県内出身」の親を持つ人は、「ない」と答える割合が最も高い (28.9%)。これは、親が山形県内出身だが上山市出身ではない人が市内での就業機会に対してやや否定的な見方を持っていることを示している。

「両親とも県外出身」の人は、「どちらともいえない」と答える割合が最も高い (42.9%)。これは、親が県外出身の人が市内での就業機会に対して不確定な見方を持っていることを示している。

示唆 2: 定住意向 (問 13)

「上山市の出身」の親を持つ人は、「住むつもり」と答える割合が最も高い (34.4%)。これは、親が上山市出身の人が市内での定住意向に対して非常に肯定的な見方を持っていることを示している。

「上山市ではないが山形県内出身」の親を持つ人は、「仕事があっても住みたくない」と答える割合が最も高い (52.7%)。これは、親が山形県内出身だが上山市出身ではない人が市内での定住に対して否定的な見方を持っていることを示している。

「両親とも県外出身」の人は、「住むつもり」と答える割合が 0% である。これは、親が県外出身の人が市内での定住意向に対して非常に低い見方を持っていることを示している。

示唆 3: 若者の定着への考え (問 15)

「上山市の出身」の親を持つ人は、「その通りだと思うので、自分もこの地に住み着くつもりでいる」と答える割合が最も高い (19.7%)。これは、親が上山市出身の人が市内での定住意向に対して非常に肯定的な見方を持っていることを示している。

「上山市ではないが山形県内出身」の親を持つ人は、「その通りだとは思いますが、希望する仕事や生活があることが優先で、なければしかたがない」と答える割合が最も高い (59.4%)。これは、親が山形県内出身だが上山市出身ではない人が希望する仕事や生活を優先する傾向が強く、市内での定住に対して厳しい条件を持っていることを示している。

「両親とも県外出身」の人は、「若者の仕事や生活に対する希望が何より優先されるべきで、地方の活性化とは別問題だ」と答える割合が 16.7% と、他のグループよりも高い。これは、親が県外出身の人が地方の活性化と若者の希望を対立的に見ていることを示している。

総合的な示唆

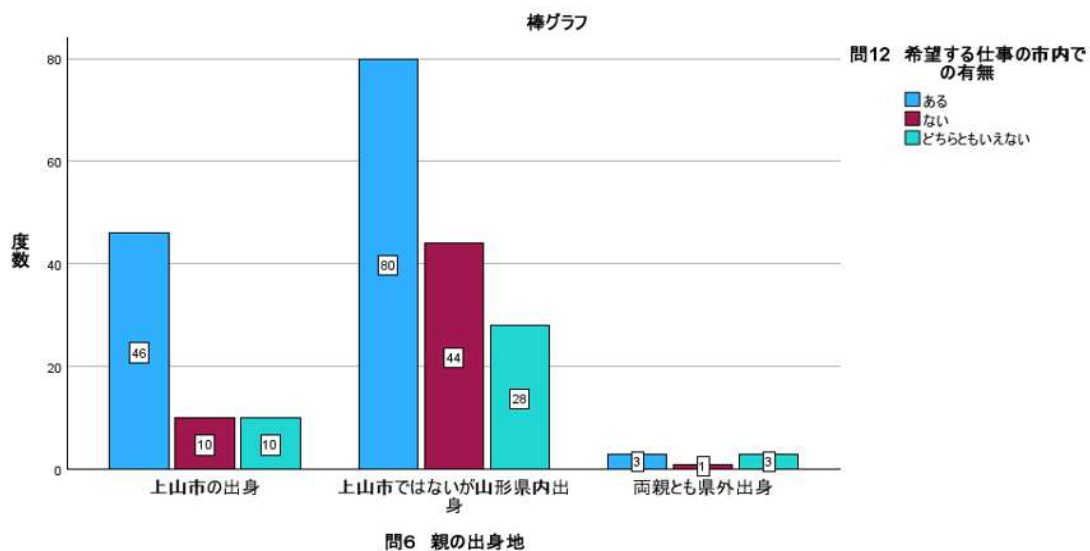
「上山市の出身」の親を持つ人に対しては、生活環境の維持とさらなる向上を図り、定住意向を高める施策が重要である。特に市内での就業機会に対して非常に肯定的な見方を持っているため、その特性を活かす施策が有効である。

「上山市ではないが山形県内出身」の親を持つ人に対しては、市内での就業機会の拡充と情報提供を強化し、否定的な見方を減らす努力が必要である。希望する仕事や生活を実現できる環境を整備することが求められる。

「両親とも県外出身」の人に対しては、市内での魅力を発信し、希望する仕事が見つかるような支援を行うことが重要である。特に希望する仕事があれば定住意向が高まるため、それに応じた施策を展開することが必要である。

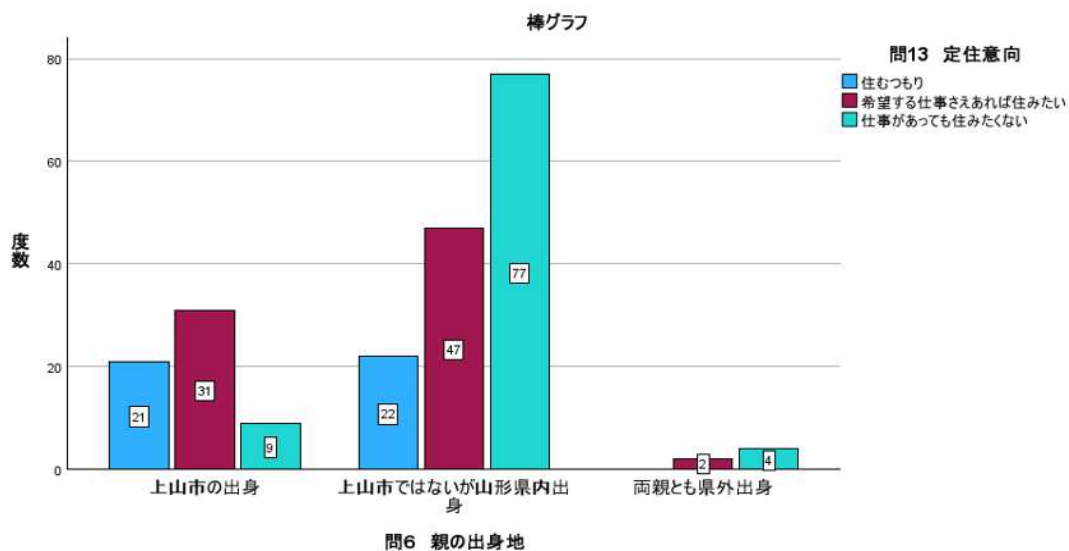
問 6 親の出身地 と 問 12 希望する仕事の市内での有無 のクロス表

			問 12 希望する仕事の市内での 有無			合計
			ある	ない	どちらとも いえない	
問 6 親の 出身地	上山市の出身	度数	46	10	10	66
		問 6 親の 出身地 の %	69. 7%	15. 2%	15. 2%	100. 0%
	上山市ではないが山形 県内出身	度数	80	44	28	152
		問 6 親の 出身地 の %	52. 6%	28. 9%	18. 4%	100. 0%
	両親とも県 外出身	度数	3	1	3	7
		問 6 親の 出身地 の %	42. 9%	14. 3%	42. 9%	100. 0%
合計		度数	129	55	41	225
		問 6 親の 出身地 の %	57. 3%	24. 4%	18. 2%	100. 0%



問 6 親の出身地 と 問 13 定住意向 のクロス表

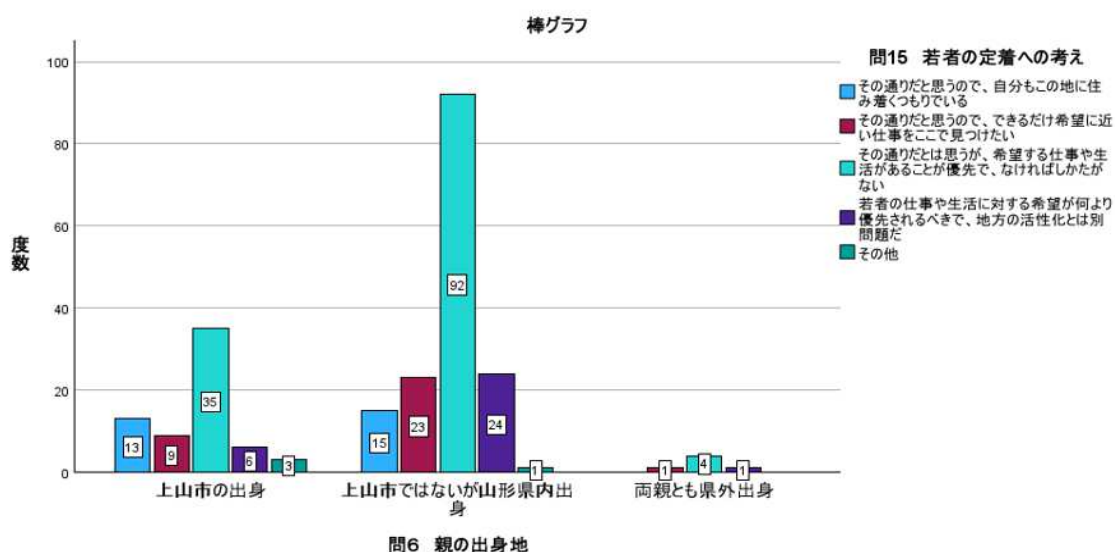
			問 13 定住意向			合計
			住むつもり	希望する仕事さえあれば住みたい	仕事があっても住みたくない	
問 6 親の出身地	上山市の出身	度数	21	31	9	61
		問 6 親の出身地の %	34. 4%	50. 8%	14. 8%	100. 0%
	上山市ではないが山形県内出身	度数	22	47	77	146
		問 6 親の出身地の %	15. 1%	32. 2%	52. 7%	100. 0%
	両親とも県外出身	度数	0	2	4	6
		問 6 親の出身地の %	0. 0%	33. 3%	66. 7%	100. 0%
合計		度数	43	80	90	213
		問 6 親の出身地の %	20. 2%	37. 6%	42. 3%	100. 0%



問 6 親の出身地 と 問 15 若者の定着への考え のクロス表

			問 15 若者の定着への考え					合計
			その通りだと思ふので、自分もこの地に住み着くつもりでいる	その通りだと思ふので、できるだけ希望に近い仕事をここで見つけた	その通りだと思ふが、希望する仕事や生活があることが優先で、なければしかな	若者の仕事や生活に対する希望が何より優先されるべきで、地方の活性化とは別問題だ	その他	
問 6 親の出身地	上山市の出身	度数	13	9	35	6	3	66
		問 6 親の出身地の %	19.7%	13.6%	53.0%	9.1%	4.5%	100.0%
	上山市ではないが山形県内	度数	15	23	92	24	1	155
		問 6 親の出身地の %	9.7%	14.8%	59.4%	15.5%	0.6%	100.0%

	出身							
	両親とも県外出身	度数	0	1	4	1	0	6
		問6 親の出身地の %	0.0%	16.7%	66.7%	16.7%	0.0%	100.0%
合計		度数	28	33	131	31	4	227
		問6 親の出身地の %	12.3%	14.5%	57.7%	13.7%	1.8%	100.0%



⑥ 予定進路による違い

示唆 1: 希望する仕事の市内での有無（問 12）

「大学等へ進学する」予定の人は、市内に希望する仕事があると感じる割合が 52.0%であり、他の進路に比べてやや低い。これは、進学を予定している人が市内での就業機会に対してやや慎重な見方を持っていることを示している。

「就職する」予定の人は、市内に希望する仕事があると感じる割合が 62.4%であり、進学予定の人よりも高い。これは、就職を予定している人が市内での就業機会に対して肯定的な見方を持っていることを示している。

「その他」の進路を予定している人は、市内に希望する仕事があると感じる割合が 85.7%と最も高い。これは、その他の進路を予定している人が市内での就業機会に対して非常に肯定的な見方を持っていることを示している。

示唆 2: 定住意向（問 13）

「大学等へ進学する」予定の人は、「住むつもり」と答える割合が 13.1%であり、他の進

路に比べて低い。これは、進学を予定している人が市内での定住意向に対して慎重な見方を持っていることを示している。

「就職する」予定の人は、「住むつもり」と答える割合が 30.2%と最も高い。これは、就職を予定している人が市内での定住意向に対して非常に肯定的な見方を持っていることを示している。

「その他」の進路を予定している人は、「仕事があっても住みたくない」と答える割合が 57.1%であり、他の進路に比べて高い。これは、その他の進路を予定している人が市内での定住に対して否定的な見方を持っていることを示している。

示唆 3: 若者の定着への考え（問 15）

「大学等へ進学する」予定の人は、「その通りだとは思いますが、希望する仕事や生活があることが優先で、なければしかたがない」と答える割合が 62.8%で最も高い。これは、進学を予定している人が希望する仕事や生活を優先する傾向が強いことを示している。

「就職する」予定の人は、「その通りだと思うので、自分もこの地に住み着くつもりでいる」と答える割合が 16.1%と最も高い。これは、就職を予定している人が市内での定住意向に対して非常に肯定的な見方を持っていることを示している。

「その他」の進路を予定している人は、「若者の仕事や生活に対する希望が何より優先されるべきで、地方の活性化とは別問題だ」と答える割合が 28.6%と最も高い。これは、その他の進路を予定している人が地方の活性化と若者の希望を対立的に見ていることを示している。

総合的な示唆

「大学等へ進学する」予定の人に対しては、市内での就業機会や生活環境の充実を図り、定住意向を高める施策が必要である。特に希望する仕事や生活を優先する傾向が強いので、それに応じた柔軟な支援が求められる。

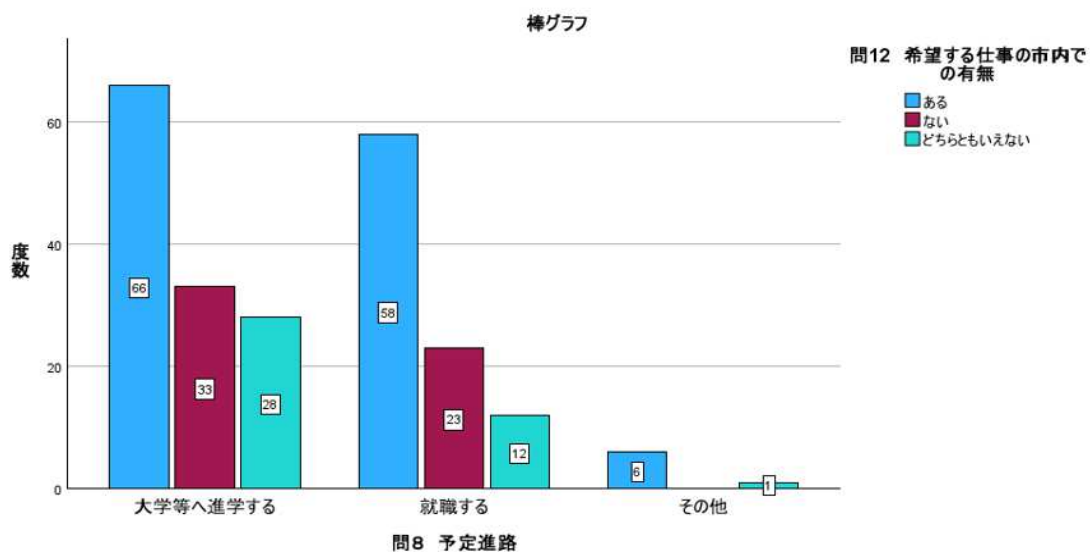
「就職する」予定の人に対しては、市内での就業機会をさらに強化し、定住意向を高める施策が重要である。特に市内での就業機会に対して非常に肯定的な見方を持っているため、その特性を活かす施策が有効である。

「その他」の進路を予定している人に対しては、市内での魅力を発信し、希望する仕事や生活が見つかるような支援を行うことが重要である。特に地方の活性化と若者の希望を対立的に見ているため、それに対応した施策を展開することが必要である。

問 8 予定進路 と 問 12 希望する仕事の市内での有無 のクロス表

	問 12 希望する仕事の市内での有無	合計

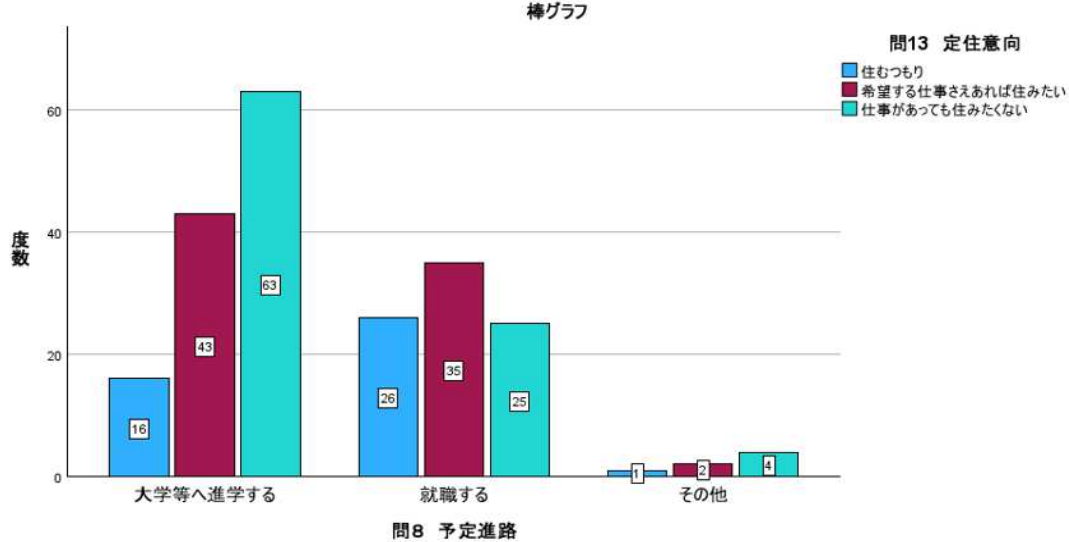
			ある	ない	どちらとも いえない	
問 8 予定 進路	大学等へ進 学する	度数	66	33	28	127
		問 8 予定 進路 の %	52. 0%	26. 0%	22. 0%	100. 0%
	就職する	度数	58	23	12	93
		問 8 予定 進路 の %	62. 4%	24. 7%	12. 9%	100. 0%
	その他	度数	6	0	1	7
		問 8 予定 進路 の %	85. 7%	0. 0%	14. 3%	100. 0%
合計		度数	130	56	41	227
		問 8 予定 進路 の %	57. 3%	24. 7%	18. 1%	100. 0%



問 8 予定進路 と 問 13 定住意向 のクロス表

			問 13 定住意向			合計
			住むつもり	希望する仕事さえあれば住みたい	仕事があっても住みたくない	
問 8 予定	大学等へ進	度数	16	43	63	122

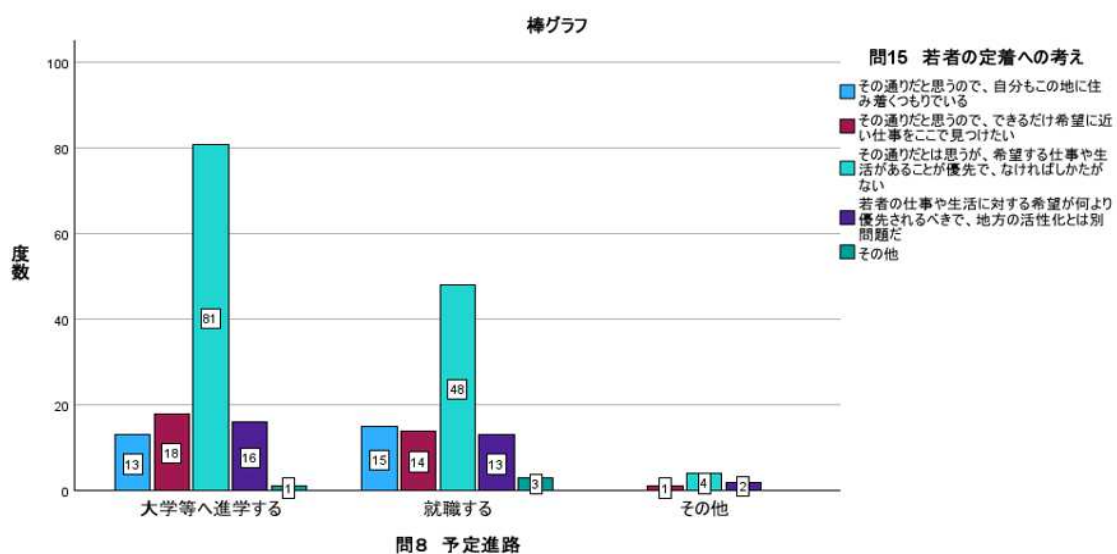
進路	学する	問 8 予 定 進路 の %	13.1%	35.2%	51.6%	100.0%
	就職する	度数	26	35	25	86
		問 8 予 定 進路 の %	30.2%	40.7%	29.1%	100.0%
	その他	度数	1	2	4	7
		問 8 予 定 進路 の %	14.3%	28.6%	57.1%	100.0%
合計		度数	43	80	92	215
		問 8 予 定 進路 の %	20.0%	37.2%	42.8%	100.0%



問 8 予定進路 と 問 15 若者の定着への考え のクロス表

	問 15 若者の定着への考え					合計
	その通りだと 思うので、自分 もこの地に住 み着くつもり でいる	その通りだと 思うので、でき るだけ希望に 近い仕事をこ こで見つけた	その通りだと は思うが、希望 する仕事や生 活があること が優先で、なけ	若者の仕事や 生活に対する 希望が何より 優先されるべ きで、地方の活	その他	

				い	ればし かたが ない	性化と は別問 題だ		
問 8 予 定 進 路	大 学 等 へ 進 学 す る	度 数	13	18	81	16	1	129
		問 8 予 定 進 路 の %	10.1%	14.0%	62.8%	12.4%	0.8%	100.0%
	就 職 す る	度 数	15	14	48	13	3	93
		問 8 予 定 進 路 の %	16.1%	15.1%	51.6%	14.0%	3.2%	100.0%
	そ の 他	度 数	0	1	4	2	0	7
		問 8 予 定 進 路 の %	0.0%	14.3%	57.1%	28.6%	0.0%	100.0%
合 計		度 数	28	33	133	31	4	229
		問 8 予 定 進 路 の %	12.2%	14.4%	58.1%	13.5%	1.7%	100.0%



⑦ 進路の地域希望による違い

示唆 1: 希望する仕事の市内での有無（問 12）

「上山市及び近隣地域」を希望する人は、市内に希望する仕事があると感じる割合が 85.7%と最も高い。これは、地元やその近隣地域で就職を希望する人が市内での就業機会に対して非常に肯定的な見方を持っていることを示している。

「他の山形県内」を希望する人は、市内に希望する仕事があると感じる割合が 58.2%である。これは、山形県内全体での就職を視野に入れている人が市内での就業機会にも一定の肯定的な見方を持っていることを示している。

「関東地域」を希望する人は、市内に希望する仕事があると感じる割合が 22.7%と最も低い。これは、関東地域での就職を希望する人が市内での就業機会に対して否定的な見方を持っていることを示している。

示唆 2: 定住意向（問 13）

「上山市及び近隣地域」を希望する人は、「住むつもり」と答える割合が 49.1%と最も高い。これは、地元やその近隣地域での定住意向が非常に強いことを示している。

「他の山形県内」を希望する人は、「希望する仕事さえあれば住みたい」と答える割合が 32.9%であり、高い定住意向を持っているが、希望する仕事があることが前提である。

「関東地域」を希望する人は、「住むつもり」と答える割合が 0.0%である。これは、関東地域での就職を希望する人が市内での定住意向が非常に低いことを示している。

「その他」を希望する人は、「希望する仕事さえあれば住みたい」と答える割合が 80.0%と最も高い。これは、特定の地域にこだわらないが、希望する仕事が見つければ定住する意向が強いことを示している。

示唆 3: 若者の定着への考え（問 15）

「上山市及び近隣地域」を希望する人は、「その通りだと思うので、自分もこの地に住み着くつもりでいる」と答える割合が 23.2%と最も高い。これは、地元やその近隣地域での定住意向が非常に強いことを示している。

「東北地域」を希望する人は、「その通りだとは思いますが、希望する仕事や生活があることが優先で、なければしかたがない」と答える割合が 66.7%と最も高い。これは、東北地域での就職を希望する人が希望する仕事や生活を優先する傾向が強いことを示している。

「関東地域」を希望する人は、「若者の仕事や生活に対する希望が何より優先されるべきで、地方の活性化とは別問題だ」と答える割合が 9.1%である。これは、関東地域での就職を希望する人が地方の活性化と若者の希望を対立的に見ていることを示している。

「その他」を希望する人は、全体的に意見が分散しているが、「その他」に対する割合が 10.0%と最も高い。これは、特定の地域にこだわらないが、地方の活性化と若者の希望に対して独自の見方を持っていることを示している。

総合的な示唆

「上山市及び近隣地域」を希望する人には、地元やその近隣地域での就業機会をさらに強化し、定住意向を高める施策が重要である。特に市内での就業機会に対して非常に肯定的な見方を持っているため、その特性を活かす施策が有効である。

「他の山形県内」を希望する人には、山形県内全体での就業機会の充実と情報提供を強化し、希望する仕事が見つかるような支援が必要である。特に希望する仕事や生活を優先する傾向があるため、そのニーズに応じた柔軟な支援が求められる。

「東北地域」を希望する人には、東北地域全体での就業機会に対して慎重な見方を持っているため、地域の魅力を再確認し、定住意向を高める施策が求められる。特に市内での定住意向が非常に低いため、その特性に対応した施策を展開することが必要である。

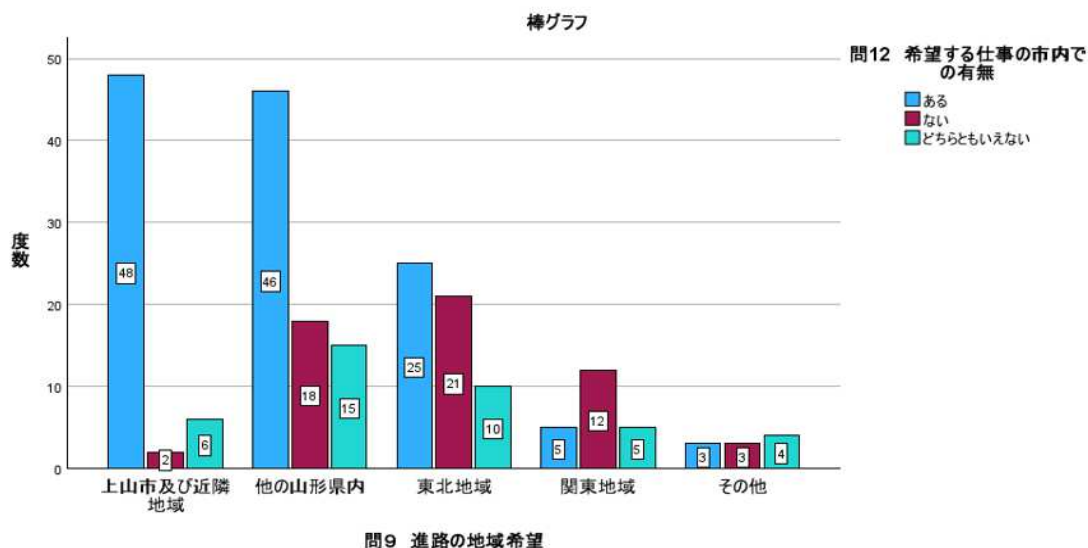
「関東地域」を希望する人には、市内での魅力を発信し、希望する仕事が見つかるような支援を行うことが重要である。特に市内での定住意向が非常に低いため、その特性に対応した施策を展開することが必要である。

「その他」の地域を希望する人には、特定の地域にこだわらず、希望する仕事や生活が見つかるような柔軟な支援を提供することが求められる。特に地域に対する中立的な見方を持つため、その柔軟性を活かした施策が有効である。

問 9 進路の地域希望 と 問 12 希望する仕事の市内での有無 のクロス表

			問 12 希望する仕事の市内での有無			合計
			ある	ない	どちらともいえない	
問 9 進路の地域希望	上山市及び近隣地域	度数	48	2	6	56
		問 9 進路の地域希望の %	85.7%	3.6%	10.7%	100.0%
	他の山形県内	度数	46	18	15	79
		問 9 進路の地域希望の %	58.2%	22.8%	19.0%	100.0%
	東北地域	度数	25	21	10	56
		問 9 進路の地域希望の %	44.6%	37.5%	17.9%	100.0%

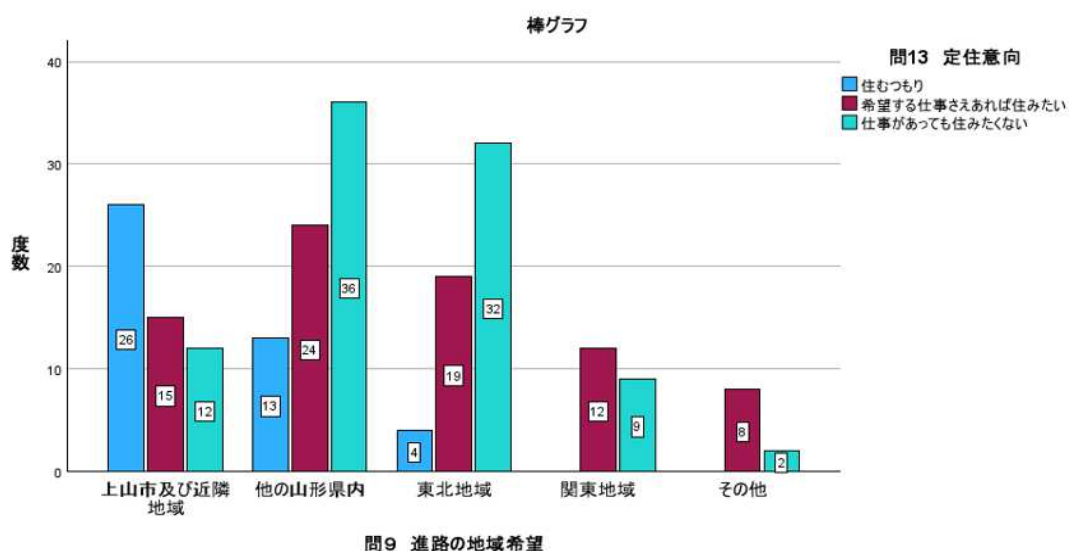
	関東地域	度数	5	12	5	22
		問 9 進路 の 地 域 希 望 の %	22. 7%	54. 5%	22. 7%	100. 0%
	その他	度数	3	3	4	10
		問 9 進路 の 地 域 希 望 の %	30. 0%	30. 0%	40. 0%	100. 0%
合計		度数	127	56	40	223
		問 9 進路 の 地 域 希 望 の %	57. 0%	25. 1%	17. 9%	100. 0%



問 9 進路の地域希望 と 問 13 定住意向 のクロス表

			問 13 定住意向			合計
			住むつもり	希望する仕事さえあれば住みたい	仕事があっても住みたくない	
問 9 進路 の地域希望	上山市及び 近隣地域	度数	26	15	12	53
		問 9 進路 の地域希望 の %	49.1%	28.3%	22.6%	100.0%

	他の山形県内	度数	13	24	36	73
		問 9 進路 の 地 域 希 望 の %	17. 8%	32. 9%	49. 3%	100. 0%
	東北地域	度数	4	19	32	55
		問 9 進路 の 地 域 希 望 の %	7. 3%	34. 5%	58. 2%	100. 0%
	関東地域	度数	0	12	9	21
		問 9 進路 の 地 域 希 望 の %	0. 0%	57. 1%	42. 9%	100. 0%
	その他	度数	0	8	2	10
		問 9 進路 の 地 域 希 望 の %	0. 0%	80. 0%	20. 0%	100. 0%
合計		度数	43	78	91	212
		問 9 進路 の 地 域 希 望 の %	20. 3%	36. 8%	42. 9%	100. 0%



問 9 進路の地域希望 と 問 15 若者の定着への考え のクロス表

	問 15 若者の定着への考え	合計
--	----------------	----

			その通りだ と思うので、 自分もこの 地に住み着 くつもりで いる	その通りだ と思うので、 できるだけ 希望に近い 仕事をここ で見つけた い	その通りだ と思うが、希 望する仕事 や生活があ ることが優 先で、なか ればしかな い	若者の仕事 や生活に対 する希望が 何より優先 されべきで 、地方の活 性化とは別 問題だ	その他	
問 9 進路の 地域希 望	上山市 及び近 隣地域	度数	13	9	26	7	1	56
		問 9 進 路の地域 希 望 の %	23.2%	16.1%	46.4%	12.5%	1.8%	100.0%
	他の山 形県内	度数	12	15	44	10	0	81
		問 9 進 路の地域 希 望 の %	14.8%	18.5%	54.3%	12.3%	0.0%	100.0%
	東北地 域	度数	1	7	38	11	0	57
		問 9 進 路の地域 希 望 の %	1.8%	12.3%	66.7%	19.3%	0.0%	100.0%
	関東地 域	度数	0	0	18	2	2	22
		問 9 進 路の地域 希 望 の %	0.0%	0.0%	81.8%	9.1%	9.1%	100.0%
	その他	度数	1	2	5	1	1	10
		問 9 進	10.0%	20.0%	50.0%	10.0%	10.0%	100.0%

		路の地域 希 望 の %						
合計	度数	27	33	131	31	4	226	
	問 9 進 路の地域 希 望 の %	11. 9%	14. 6%	58. 0%	13. 7%	1. 8%	100. 0%	

